

0001 実技試験の基本 > 試験手順・安全確認 | 難易度：基礎

問題：クレーン・デリック運転士実技試験の「クレーンの運転」で、公式規程に示される基本的な流れとして正しいものはどれか。

- ア．重量を確認し、荷をつり上げ、定められた経路で運搬し、定められた位置に卸す。
- イ．荷をつり上げず、空運転だけを行う。
- ウ．重量確認をせず、最短経路だけを走行する。
- エ．合図だけを行い、クレーンの運転はしない。

答え・解説 正答：ア

- ア：正しい。実技試験規程では、この一連の作業が試験方法として明示されている。
- イ：実技試験では実際に荷をつり上げ、運搬し、卸す。
- ウ：重量確認は公式の試験方法に含まれる。
- エ：合図は別の実技科目であり、運転科目では実際の運転を行う。

総合解説：実技対策では、重量確認、つり上げ、経路運搬、定位置への卸しを一連の工程として練習する。

対象：2026-09-02

0002 実技試験の基本 > 試験手順・安全確認 | 難易度：基礎

問題：実技運転を開始する直前の行動として最も適切なものはどれか。

- ア．開始合図と同時に周囲を見ずに急発進する。
- イ．操作方向、荷の状態、進行経路、周囲の人や障害物を確認してから操作を開始する。
- ウ．荷の状態だけを見て、進行方向は確認しない。
- エ．操作装置の方向を確認せず、動かしてから覚える。

答え・解説 正答：イ

- ア：障害物や人の見落としにつながり危険である。
- イ：正しい。運転開始前に機械・荷・経路・周囲の安全を確認することが基本である。
- ウ：運搬経路の安全確認も必要である。
- エ：誤操作を防ぐため操作方向は事前に確認する。

総合解説：実技では速さよりも、確認してから確実に操作する習慣が重要である。

対象：2026-09-02

0003

実技試験の基本 > 試験手順・安全確認 | 難易度：基礎

問題：運転開始直後、ブレーキの効き方が普段と明らかに異なると感じた。最も適切な対応はどれか。

- ア．試験時間を優先してそのまま続ける。
- イ．速度を上げればブレーキ異常は解消すると考える。
- ウ．無理に続行せず、安全に停止して異常を確認する。
- エ．荷を高く上げてから様子を見る。

答え・解説

正答：ウ

- ア：安全より時間を優先するのは不適切である。
- イ：むしろ停止距離が伸び危険が増す。
- ウ：正しい。安全装置やブレーキに異常の疑いがある状態で運転を継続してはならない。
- エ：異常状態で荷をさらに動かすべきではない。

総合解説：実技では異常時に『止める判断』も重要な安全技量である。

対象：2026-09-02

0004

実技試験の基本 > 試験手順・安全確認 | 難易度：標準

問題：指定経路を運搬する前に最も確認すべき事項はどれか。

- ア．最終着床位置だけで、途中経路は見ない。
- イ．操作盤だけを見続け、荷や経路を見ない。
- ウ．最短距離だけを考え、指定経路は無視する。
- エ．曲がり位置、障害物、停止位置など経路全体の要点。

答え・解説

正答：エ

- ア：指定経路を外れる原因となる。
- イ：荷と経路の監視が必要である。
- ウ：試験では定められた経路による運搬が求められる。
- エ：正しい。先の経路を把握しておく、急な方向転換や無理な修正を減らせる。

総合解説：経路を先読みし、必要な減速・方向転換を早めに準備することが安定運転につながる。

対象：2026-09-02

0005

実技試験の基本 > 試験手順・安全確認 | 難易度：標準

問題：実技中の視線配分として最も適切なものはどれか。

- ア．荷の動き、進行方向、障害物、停止位置を継続的に確認する。
- イ．操作レバーだけを見続ける。
- ウ．荷だけを見て、進行方向は確認しない。
- エ．最終停止位置だけを見て、荷振れは見ない。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。運転中は一か所だけを見るのではなく、必要な情報を継続的に確認する。
- イ：荷や進行方向の変化を見落とす。
- ウ：障害物への接触を防げない。
- エ：荷振れを把握できず安定した運転ができない。

総合解説：視線は操作装置に固定せず、荷と経路を中心に必要箇所へ配る。

対象：2026-09-02

0006

実技試験の基本 > 試験手順・安全確認 | 難易度：標準

問題：つり荷を移動させる際、周囲に人がいる場合の判断として最も適切なものはどれか。

- ア．人がヘルメットを着用していれば真上を通してよい。
- イ．人の上を通過させないようにし、必要なら運転を止める。
- ウ．荷が軽ければ人の上を通してよい。
- エ．速度を上げて短時間で通過すればよい。

答え・解説

正答：イ

- ア：ヘルメットだけで落下荷の危険を防げない。
- イ：正しい。つり荷の落下や荷振れを考え、人の上を通過させないことが安全の基本である。
- ウ：軽量でも接触・落下の危険がある。
- エ：高速化は荷振れや接触リスクを増やす。

総合解説：経路上に人がいる場合は、運搬より安全確保を優先する。

対象：2026-09-02

0007

実技試験の基本 > 試験手順・安全確認 | 難易度：標準

問題：試験開始前に、荷の位置、操作方向、経路、周囲の安全を確認する。最も適切な考え方はどれか。

- ア． だけ確認すれば十分である。
- イ． だけ確認すれば十分である。
- ウ． いずれも運転前の重要確認事項としてまとめて確認する。
- エ． は運転開始後に初めて確認すればよい。

答え・解説

正答：ウ

- ア：経路や操作方向を見落とす。
- イ：荷や周囲の状態を把握できない。
- ウ：正しい。安全な実技運転には、荷・操作・経路・周囲の確認を組み合わせる必要がある。
- エ：開始前から周囲の安全確認が必要である。

総合解説：安全確認は一項目で完結せず、複数の確認を一連のルーチンとして行う。

対象：2026-09-02

0008

実技試験の基本 > 試験手順・安全確認 | 難易度：標準

問題：実技試験対策で、公式に公表されていない細かな減点点数について最も適切な扱いはどれか。

- ア． SNSの体験談の点数を公式基準として断定する。
- イ． 安全操作より推測した採点テクニックを優先する。
- ウ． 公式の試験方法は無視して独自手順だけ練習する。
- エ． 非公式情報を断定せず、公式に示された運転課題と安全な基本操作を優先して練習する。

答え・解説

正答：エ

- ア：非公式情報を公式基準として扱うのは不適切である。
- イ：実技の本質から外れる。
- ウ：公式に示された課題を基準にするべきである。
- エ：正しい。公式資料では試験方法は示されるが、細かな採点内訳まで公開されているとは限らない。

総合解説：本教材では、公表されていない採点細目を創作せず、公式範囲と安全運転の原則を中心に扱う。

対象：2026-09-02

0009

実技試験の基本 > 試験手順・安全確認 | 難易度：応用

問題：実技で経路後半に余裕を残したい。最も適切な方法はどれか。

- ア．序盤から急がず、安定した操作で荷振れや修正操作を減らす。
- イ．最初から最高速度で走行し、後で修正する。
- ウ．確認を省略して操作回数だけ減らす。
- エ．着床位置の直前まで減速しない。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。急操作で荷振れを増やすと、結果的に修正時間が増える。
- イ：荷振れや経路逸脱が増えやすい。
- ウ：安全性が低下する。
- エ：停止余裕がなくなり、位置合わせが難しくなる。

総合解説：安定運転は安全性だけでなく、不要な修正を減らして全体の効率も高める。

対象：2026-09-02

0010

実技試験の基本 > 試験手順・安全確認 | 難易度：応用

問題：開始前に荷の玉掛けが偏り、経路上に人がおり、ブレーキにも違和感がある。最も適切な対応はどれか。

- ア．荷だけ直して他は無視して開始する。
- イ．運転を開始せず、それぞれの危険要因を解消してから再確認する。
- ウ．人だけ移動させ、玉掛けとブレーキは無視する。
- エ．試験なのでそのまま開始し、途中で考える。

答え・解説

正答：イ

- ア：人やブレーキの危険が残る。
- イ：正しい。複数の危険がある状態では、開始しない判断が最優先である。
- ウ：他の危険要因が残る。
- エ：安全確認を後回しにするべきではない。

総合解説：実技では、危険要因を一つずつ確実に除去してから運転する判断力が求められる。

対象：2026-09-02

0011 実技試験の基本 > 荷重確認・つり上げ前確認 | 難易度：基礎

問題：実技試験のクレーン運転で、荷をつり上げる前に公式に求められている確認はどれか。

- ア．荷の色だけを確認すること
- イ．運転者の体重を確認すること
- ウ．荷の重量を確認すること
- エ．経路の長さだけを測ること

答え・解説 正答：ウ

- ア：公式に示される主要確認事項ではない。
イ：荷のつり上げ能力判断とは無関係である。
ウ：正しい。実技試験規程には、重量を確認してから荷をつり上げることが明示されている。
エ：経路確認は重要だが、公式規程では重量確認も明示されている。

総合解説：荷の重量を把握し、クレーンの能力やつり具の条件に適合するかを確認することが基本である。

対象：2026-09-02

0012 実技試験の基本 > 荷重確認・つり上げ前確認 | 難易度：基礎

問題：荷を地切りする前のフック位置として最も適切なのはどれか。

- ア．荷から大きく横にずれた位置にする。
- イ．経路の最終地点の真上に置く。
- ウ．フック位置は荷の重心と無関係である。
- エ．荷の重心付近の真上にフックが来るようにする。

答え・解説 正答：エ

- ア：斜め引きとなり、荷の横移動や振れを招く。
イ：つり上げ前はまず荷の重心とフックの位置関係が重要である。
ウ：地切り時の姿勢と荷振れに大きく影響する。
エ：正しい。フックが重心の真上から外れると、地切り時に荷が横へ動いたり傾いたりしやすい。

総合解説：地切り前にフックと荷の重心をできるだけ鉛直に合わせることで、不要な横振れを抑えられる。

対象：2026-09-02

0013

実技試験の基本 > 荷重確認・つり上げ前確認 | 難易度：基礎

問題：荷をつり上げる直前、ワイヤロープにたるみがある。最も適切な操作はどれか。

- ア．低速で巻き上げ、たるみを徐々に取ってから荷を地切りする。
- イ．最高速で一気に巻き上げてたるみを取る。
- ウ．たるんだまま走行を開始する。
- エ．巻下げを続けてロープをさらにたるませる。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。急に張力をかけると衝撃荷重や荷の急な移動を生じやすい。
- イ：衝撃荷重を生じやすい。
- ウ：荷を安定して支持できない。
- エ：つり上げ前の安全な準備にならない。

総合解説：地切り前は、ロープを徐々に張り、荷が安全に支持される状態を確認する。

対象：2026-09-02

0014

実技試験の基本 > 荷重確認・つり上げ前確認 | 難易度：標準

問題：荷を床からわずかに浮かせて一度止める「地切り確認」が有効な主な理由はどれか。

- ア．荷を高く上げるほど確認しやすいから。
- イ．荷の傾き、玉掛けの状態、ブレーキ保持などを低い位置で確認できるため。
- ウ．地切りすると荷の重量が軽くなるから。
- エ．地切りすると定格荷重が自動的に増えるから。

答え・解説

正答：イ

- ア：異常時の危険が大きくなる。
- イ：正しい。異常があっても荷が低い位置なら影響を小さくしやすい。
- ウ：荷の質量・重量が小さくなるわけではない。
- エ：クレーン能力は変わらない。

総合解説：地切りは、荷を本格運搬する前の重要な安全確認段階である。

対象：2026-09-02

0015

実技試験の基本 > 荷重確認・つり上げ前確認 | 難易度：標準

問題：外れ止め装置を備えたフックに玉掛け用具を掛けた。つり上げ前の確認として適切なものはどれか。

- ア．外れ止め装置を開いたまま固定する。
- イ．玉掛け用具をフック先端だけに浅く掛ける。
- ウ．玉掛け用具がフックに正しく掛かり、外れ止め装置が機能する状態か確認する。
- エ．装置の状態は荷を高く上げた後に初めて確認する。

答え・解説

正答：ウ

- ア：脱落防止機能を失わせる。
- イ：外れや局部荷重の危険が増す。
- ウ：正しい。外れ止め装置は荷やつり具の脱落防止に重要である。
- エ：つり上げ前に確認すべきである。

総合解説：フックへの掛かり方と外れ止め装置の状態は、地切り前に確認する。

対象：2026-09-02

0016

実技試験の基本 > 荷重確認・つり上げ前確認 | 難易度：標準

問題：地切りすると荷の左側が大きく下がった。最も考えやすい原因はどれか。

- ア．荷が完全に均等で、つり点も対称である。
- イ．ブレーキが正常なので必ず左下がりになる。
- ウ．経路が右へ曲がっているから。
- エ．荷の重心や玉掛け位置が左側に偏っている。

答え・解説

正答：エ

- ア：大きな傾きの説明になりにくい。
- イ：ブレーキ正常と荷の左右傾斜には直接関係しない。
- ウ：地切り直後の傾きは主に荷の重心・玉掛け条件による。
- エ：正しい。重心とつり点の関係が偏ると、荷は重心がつり系の下へ来る方向へ傾く。

総合解説：地切りで傾きが大きい場合は、無理に高く上げず玉掛け状態を見直す。

対象：2026-09-02

0017

実技試験の基本 > 荷重確認・つり上げ前確認 | 難易度：標準

問題：確認した荷の重量が、その使用条件での定格荷重を上回っていた。最も適切な対応はどれか。

- ア．つり上げを行わない。
- イ．ゆっくりならつり上げてよい。
- ウ．荷振れを抑えればつり上げてよい。
- エ．フックを高くすればつり上げてよい。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。クレーンは定格荷重を超える荷重をかけて通常使用してはならない。
- イ：低速でも過負荷という問題は解消しない。
- ウ：荷振れ抑制と過負荷制限は別である。
- エ：フック高さで定格荷重超過は解消しない。

総合解説：重量確認は、単に数値を知るだけでなく、能力超過を防ぐために行う。

対象：2026-09-02

0018

実技試験の基本 > 荷重確認・つり上げ前確認 | 難易度：標準

問題：荷から横にずれた位置のフックで、そのまま巻き上げる「斜め引き」が不適切な主な理由はどれか。

- ア．斜め引きすると荷の重量が0になるから。
- イ．荷が急に横へ動いたり、クレーンに不要な横力を加えたりするため。
- ウ．斜め引きするとブレーキが必ず強くなるから。
- エ．斜め引きは荷振れを完全に防ぐから。

答え・解説

正答：イ

- ア：重量は変わらない。
- イ：正しい。巻上げは本来鉛直方向の荷を扱うことを前提とし、斜め引きは危険な横移動を生む。
- ウ：そのような安全効果はない。
- エ：逆に横振れを発生させやすい。

総合解説：地切り前にフックを荷の真上へ合わせることが安定運転の第一歩である。

対象：2026-09-02

0019 実技試験の基本 > 荷重確認・つり上げ前確認 | 難易度：応用

問題：つり上げ前に、荷の重量は能力内だが、フックが重心からずれ、ロープもたるみ、玉掛けが片寄っている。最も適切な対応はどれか。

- ア．重量だけ問題ないので、そのまま最高速でつり上げる。
- イ．荷を高く上げてから玉掛けを直す。
- ウ．荷を浮かせる前に、フック位置・ロープ・玉掛け状態を整える。
- エ．走行しながらロープのたるみを取る。

答え・解説 正答：ウ

- ア：姿勢・玉掛け・ロープ状態の危険が残る。
- イ：高所で不安定荷を扱うことになる。
- ウ：正しい。重量が能力内でも、つり方が不安定なら安全なつり上げはできない。
- エ：つり上げ前の基本確認を省略している。

総合解説：重量確認とつり上げ前の姿勢確認は、どちらも必要である。

対象：2026-09-02

0020 実技試験の基本 > 荷重確認・つり上げ前確認 | 難易度：応用

問題：荷を数cm地切りしたところ、荷は水平で、玉掛けに異常がなく、ブレーキも保持し、周囲も安全である。次の行動として最も適切なものはどれか。

- ア．異常がなくても荷を床へ落とす。
- イ．地切り位置のまま最高速で走行を開始する。
- ウ．荷を人の頭上へ移動して経路を短縮する。
- エ．必要な高さまで安定して巻き上げ、指定経路の運搬へ移る。

答え・解説 正答：エ

- ア：安全な操作ではない。
- イ：障害物とのクリアランス確認が必要である。
- ウ：人の上を通すべきではない。
- エ：正しい。地切り確認で異常がなければ、荷振れを抑えながら次の運搬工程へ進む。

総合解説：地切り確認後は、必要な障害物クリアランスを確保してから運搬する。

対象：2026-09-02

0021

実技試験の基本 > 操作装置・ブレーキの扱い | 難易度：基礎

問題：操作装置を扱う前の基本として最も適切なものはどれか。

- ア．巻上げ・巻下げ・走行・横行の各操作方向を確認してから動かす。
- イ．方向表示を見ず、最初は適当に動かす。
- ウ．巻上げと巻下げだけ確認し、走行・横行は確認しない。
- エ．荷をつった後に初めて操作方向を確認する。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。操作方向の取り違えは経路逸脱や接触事故につながる。
- イ：誤操作の危険が高い。
- ウ：全操作方向を把握する必要がある。
- エ：つり上げ前に把握しておくべきである。

総合解説：操作装置の配置や方式は機械により異なるため、使用する機械で事前確認する。

対象：2026-09-02

0022

実技試験の基本 > 操作装置・ブレーキの扱い | 難易度：基礎

問題：右方向へ走行中のクレーンを左方向へ切り返すとき、基本的に望ましい操作はどれか。

- ア．走行中に直ちに最大反対操作へ入れる。
- イ．いったん十分に減速・停止してから反対方向へ操作する。
- ウ．荷振れを無視して連続的に左右へ切り返す。
- エ．速度が高いほど素早く逆転する。

答え・解説

正答：イ

- ア：急激な制動・逆転となり危険である。
- イ：正しい。急な逆転は大きな動荷重や荷振れ、機器への負担を生じやすい。
- ウ：振れを増幅しやすい。
- エ：高速時ほど停止余裕を確保する必要がある。

総合解説：方向転換は、機械と荷の運動を落ち着かせてから行う。

対象：2026-09-02

0023

実技試験の基本 > 操作装置・ブレーキの扱い | 難易度：基礎

問題：つり荷の運搬中に急停止を繰り返すと起こりやすいことはどれか。

- ア．荷振れが必ず完全に消える。
- イ．荷の質量が小さくなる。
- ウ．荷振れや動荷重が大きくなる。
- エ．ブレーキの負担が必ず0になる。

答え・解説

正答：ウ

- ア：タイミングが悪いと振れを増幅する。
- イ：質量は変わらない。
- ウ：正しい。急減速では荷が慣性で進み続けようとし、振れや大きな力が生じる。
- エ：急停止はむしろブレーキ負担を増やす。

総合解説：ブレーキは停止位置を予測し、早めに滑らかに減速するために使う。

対象：2026-09-02

0024

実技試験の基本 > 操作装置・ブレーキの扱い | 難易度：標準

問題：指定停止位置へ荷を近づけるときの操作として最も適切なものはどれか。

- ア．停止位置まで最高速を維持して急停止する。
- イ．停止位置を通過してから逆転で戻す前提で進む。
- ウ．位置合わせ中ほど速度を上げる。
- エ．手前から速度を落とし、微調整できる速度で接近する。

答え・解説

正答：エ

- ア：オーバーランや荷振れを起こしやすい。
- イ：不要な切返しと荷振れが増える。
- ウ：精度が低下する。
- エ：正しい。停止位置直前まで高速で進むより、余裕をもって減速する方が正確で安定する。

総合解説：位置決めでは『早めの減速→低速接近→停止』が基本となる。

対象：2026-09-02

0025

実技試験の基本 > 操作装置・ブレーキの扱い | 難易度：標準

問題：荷をわずかに地切りした後、停止操作をしたにもかかわらず荷がじわじわ下降する。最も適切な対応はどれか。

- ア．運搬を開始せず、安全に荷を戻してブレーキ異常を確認する。
- イ．下降量が小さいのでそのまま高く巻き上げる。
- ウ．走行を始めれば下降は止まると考える。
- エ．巻下げ操作を加えて様子を見る。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。保持できないブレーキで運搬を続けるのは危険である。
- イ：異常が悪化するおそれがある。
- ウ：走行と巻き上げブレーキ異常は別である。
- エ：さらに荷が下降する。

総合解説：地切りはブレーキ保持の異常を低い位置で発見する機会でもある。

対象：2026-09-02

0026

実技試験の基本 > 操作装置・ブレーキの扱い | 難易度：標準

問題：段階的に速度を選べる操作装置で、荷を動かし始めるときの考え方として最も適切なのはどれか。

- ア．最初から常に最高速度段を使う。
- イ．低い速度段から滑らかに加速し、荷の動きを確認する。
- ウ．速度段を無作為に往復させる。
- エ．荷の動きを見ずに速度段だけ操作する。

答え・解説

正答：イ

- ア：急加速になりやすい。
- イ：正しい。急激な速度変化を避けることで荷振れと衝撃を抑えられる。
- ウ：不安定な運転となる。
- エ：荷の応答を確認する必要がある。

総合解説：段階操作では、荷とクレーンの応答を見ながら滑らかに速度を変える。

対象：2026-09-02

0027 実技試験の基本 > 操作装置・ブレーキの扱い | 難易度：標準

問題：運搬中に経路へ人が突然入ってきた。操作上の基本判断として最も適切なのはどれか。

- ア．速度を上げて人より先に通過する。
- イ．荷を大きく振らせて注意を促す。
- ウ．安全に停止する操作を行い、人が退避するまで運搬を再開しない。
- エ．人が避ける前提でそのまま進む。

答え・解説 正答：ウ

- ア：接触危険を増やす。
- イ：新たな危険を生む。
- ウ：正しい。進路上の人との接触を防ぐため、安全停止を優先する。
- エ：安全確認を他者任せにしている。

総合解説：実技でも、予期しない危険に対して確実に停止できることが重要である。

対象：2026-09-02

0028 実技試験の基本 > 操作装置・ブレーキの扱い | 難易度：標準

問題：目的位置で停止操作をした後に確認すべきこととして最も適切なものはどれか。

- ア．操作装置だけ見て、荷の動きは確認しない。
- イ．停止したか確認せず次の反対操作へ入る。
- ウ．荷が振れているほど次の操作を急ぐ。
- エ．クレーンと荷が実際に停止し、不要な動きが残っていないこと。

答え・解説 正答：エ

- ア：慣性で荷振れや移動が残ることがある。
- イ：急な切返しとなりやすい。
- ウ：振れを増幅しやすい。
- エ：正しい。操作を戻しただけでなく、機械と荷の実際の状態を確認する。

総合解説：操作入力と実際の機械運動には時間差があるため、停止状態を目視確認する。

対象：2026-09-02

0029

実技試験の基本 > 操作装置・ブレーキの扱い | 難易度：応用

問題：同じクレーンで走行速度を高くした場合、同程度の滑らかな減速度で停止するための操作として最も適切な考え方はどれか。

- ア．より早い位置から減速を始める。
- イ．高速ほど停止位置直前まで減速しない。
- ウ．速度に関係なく常に同じ地点で急停止する。
- エ．高速ほど反対方向へ逆転して止める。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。速度が高いほど停止に必要な時間と距離が増えるため、早めの減速が必要である。
- イ：オーバーランしやすい。
- ウ：高速時には急制動となる。
- エ：急な逆転は荷振れや機器負担を増やす。

総合解説：停止位置を正確に合わせるには、現在速度に応じて減速開始位置を変える。

対象：2026-09-02

0030

実技試験の基本 > 操作装置・ブレーキの扱い | 難易度：応用

問題：走行中に荷振れが大きくなり、同時に着床位置へ近づいている。最も適切な操作方針はどれか。

- ア．走行・横行・巻下げを同時に最大操作して一気に合わせる。
- イ．無理に位置合わせを続けず、まず安全に減速して荷の動きを落ち着かせる。
- ウ．荷振れを無視して着床を急ぐ。
- エ．反対方向へ連続逆転して振れを強制的に止める。

答え・解説

正答：イ

- ア：複数の急操作で振れと誤差が増える。
- イ：正しい。振れたまま精密位置合わせを行うより、状態を安定させることを優先する。
- ウ：荷が接地時に横滑り・衝突する危険がある。
- エ：タイミングを誤ると振れを増幅する。

総合解説：精密操作では、まず荷を安定させ、それから低速で位置を合わせる。

対象：2026-09-02

0031 巻上げ・走行・横行 > 巻上げ・巻下げ | 難易度：基礎

問題：地切り後に荷を必要高さまで巻き上げる際の操作として最も適切なものはどれか。

- ア．最初から最高速度で巻き上げる。
- イ．荷を見ずに操作装置だけ見て巻き上げる。
- ウ．荷の状態を見ながら低速から滑らかに巻き上げる。
- エ．ロープがたるんだまま走行を始める。

答え・解説 正答：ウ

- ア：急加速となり荷振れや衝撃を生じやすい。
- イ：荷の姿勢や障害物を確認できない。
- ウ：正しい。急な巻上げは動荷重や荷振れを増やすため、荷の応答を見ながら操作する。
- エ：荷を安定して支持できない。

総合解説：巻上げでは、低速始動と荷の監視を組み合わせる。

対象：2026-09-02

0032 巻上げ・走行・横行 > 巻上げ・巻下げ | 難易度：基礎

問題：運搬経路に高さのある障害物がある。荷の巻上げ高さとして最も適切な考え方はどれか。

- ア．可能な限り常に最高位置まで巻き上げる。
- イ．障害物と同じ高さにすればよい。
- ウ．荷の下端が床に触れる高さのまま走行する。
- エ．障害物を安全に越えられる必要最小限の余裕を確保する。

答え・解説 正答：エ

- ア：不要に高い荷は危険を増やす。
- イ：荷振れや誤差を考慮した安全余裕が必要である。
- ウ：引きずりや接触の危険がある。
- エ：正しい。低すぎれば接触し、高すぎれば荷振れや落下時の危険が増えるため、必要な余裕を確保する。

総合解説：荷は障害物を確実にクリアできる範囲で、不要に高くしないことが基本である。

対象：2026-09-02

0033

巻上げ・走行・横行 > 巻上げ・巻下げ | 難易度：基礎

問題：荷を着床させる直前の巻下げ操作として最も適切なものはどれか。

- ア．低速にして、位置と荷の振れを確認しながらゆっくり下ろす。
- イ．最高速度のまま床へ着ける。
- ウ．荷振れが大きいまま急いで着床させる。
- エ．着床位置を見ずに巻下げを続ける。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。着床直前は衝撃や位置ずれを防ぐため低速操作が必要である。
- イ：衝撃荷重や跳ね、位置ずれを生じやすい。
- ウ：接地時に横滑りや衝突を招く。
- エ：定位置への卸しという課題を満たせない。

総合解説：巻下げ終盤では速度より精度と安定性を優先する。

対象：2026-09-02

0034

巻上げ・走行・横行 > 巻上げ・巻下げ | 難易度：標準

問題：巻上げ中に荷が急に回転し始めた。最も適切な対応はどれか。

- ア．さらに速度を上げて回転を止める。
- イ．無理に巻上げを続けず、安全に停止して荷の状態を確認する。
- ウ．そのまま障害物の近くまで移動する。
- エ．荷を見ずに巻上げだけ続ける。

答え・解説

正答：イ

- ア：回転や振れを悪化させる可能性がある。
- イ：正しい。予期しない回転は玉掛けや重心、外力等の異常を示す可能性がある。
- ウ：接触危険が高まる。
- エ：異常を放置している。

総合解説：荷の予期しない動きが出たら、まず停止して原因と安全を確認する。

対象：2026-09-02

0035

巻上げ・走行・横行 > 巻上げ・巻下げ | 難易度：標準

問題：同じ停止性能のクレーンで、巻下げ速度を高くした場合の停止操作として正しいものはどれか。

- ア．高速ほど着床位置直前まで減速しない。
- イ．速度に関係なく同じ位置で急停止すればよい。
- ウ．より早い段階から減速を始める必要がある。
- エ．高速ほど荷振れが必ず小さくなる。

答え・解説

正答：ウ

- ア：オーバーランや衝撃の危険が増す。
- イ：高速時ほど急制動となる。
- ウ：正しい。速度が高いほど停止までの距離・時間に余裕が必要になる。
- エ：速度変化が大きいのほど荷振れを生じやすい。

総合解説：巻下げでは着床位置を先読みし、余裕をもって速度を落とす。

対象：2026-09-02

0036

巻上げ・走行・横行 > 巻上げ・巻下げ | 難易度：標準

問題：運搬中の荷を必要以上に高く上げ続けることが望ましくない主な理由はどれか。

- ア．荷が高いほど必ずブレーキが効かなくなるから。
- イ．荷が高いほど重量が増えるから。
- ウ．高く上げると定格荷重が自動的に半分になるから。
- エ．荷振れや落下時の危険が大きくなり、位置確認もしにくくなるため。

答え・解説

正答：エ

- ア：高さだけでブレーキ機能が必ず失われるわけではない。
- イ：重量は高さで変わらない。
- ウ：そのような一般則ではない。
- エ：正しい。安全クリアランスを確保しつつ、不要な高所運搬は避ける。

総合解説：運搬高さは『障害物を安全に越えるのに必要な高さ』を基本に考える。

対象：2026-09-02

0037

巻上げ・走行・横行 > 巻上げ・巻下げ | 難易度：標準

問題：荷を巻下げ中で、まだ大きく振れている。横行を開始する前の判断として最も適切なものはどれか。

- ア．荷の振れを落ち着かせ、必要な高さで安全余裕を確認してから横行する。
- イ．振れが大きいのほど横行を急ぐ。
- ウ．床すれすれまで下げたまま横行する。
- エ．荷の高さを見ずに横行する。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。振れたまま複数操作を重ねると経路管理が難しくなる。
- イ：振れをさらに複雑にする。
- ウ：障害物や床への接触リスクが高い。
- エ：経路のクリアランス確認が必要である。

総合解説：複合操作より先に、荷の安定と安全高さを確保する。

対象：2026-09-02

0038

巻上げ・走行・横行 > 巻上げ・巻下げ | 難易度：標準

問題：地切り確認で異常がなかった。次に本巻上げへ移る際の操作として適切なものはどれか。

- ア．地切り確認後は荷を見ずに最高速へ入れる。
- イ．荷振れや障害物を見ながら、必要な高さまで滑らかに速度を上げる。
- ウ．地切りのまま経路をすべて走行する。
- エ．いったんロープをたるませてから巻き上げる。

答え・解説

正答：イ

- ア：荷の動きを監視する必要がある。
- イ：正しい。地切り後も急操作を避け、荷の状態を継続監視する。
- ウ：障害物クリアランスが不足する可能性がある。
- エ：再び衝撃を生じやすい。

総合解説：地切り確認は終点ではなく、本運搬へ移るための安全確認段階である。

対象：2026-09-02

0039

巻上げ・走行・横行 > 巻上げ・巻下げ | 難易度：応用

問題：着床位置へ向けて荷を下げている途中で小さな横振れが残っている。最も適切な対応はどれか。

- ア．振れを利用して床へ勢いよく当てて止める。
- イ．振れがあるほど巻下げ速度を上げる。
- ウ．巻下げを急がず、必要なら一度高さを保って振れを小さくしてから低速で着床する。
- エ．着床位置を無視して先に床へ下ろす。

答え・解説

正答：ウ

- ア：荷や設備を損傷する危険がある。
- イ：接地衝撃が増える。
- ウ：正しい。振れたまま接地させると横滑りや位置ずれが起こりやすい。
- エ：定位置への卸しができない。

総合解説：着床は、荷の水平速度を十分小さくしてから行うのが基本である。

対象：2026-09-02

0040

巻上げ・走行・横行 > 巻上げ・巻下げ | 難易度：応用

問題：経路上に低い障害物と高い障害物が連続しており、荷振れも少しある。巻上げ高さの決め方として最も適切なのはどれか。

- ア．最初の低い障害物だけ見て高さを決める。
- イ．常にクレーンの最高巻上げ位置まで上げる。
- ウ．荷振れがあるので床に触れる高さまで下げる。
- エ．経路上で必要となる最大の安全クリアランスを確保しつつ、不要に高くならない高さを選ぶ。

答え・解説

正答：エ

- ア：後方の高い障害物に接触する可能性がある。
- イ：不要に高く危険である。
- ウ：引きずり・衝突の危険がある。
- エ：正しい。すべての障害物を安全に越え、かつ高すぎる運搬を避ける。

総合解説：経路全体を先読みし、必要クリアランスと荷の安定の両方から巻上げ高さを決める。

対象：2026-09-02

0041 巻上げ・走行・横行 > 走行・横行 | 難易度：基礎

問題：天井クレーンで、クレーン全体がランウェイに沿って移動する動作はどれか。

- ア．走行
- イ．横行
- ウ．巻上げ
- エ．巻下げ

答え・解説 正答：ア

ア：正しい。走行はクレーン全体の移動、横行はトロリの移動である。
イ：横行は主としてトロリがガーダ上を移動する動作である。
ウ：巻上げは荷を鉛直方向に上げる動作である。
エ：巻下げは荷を鉛直方向に下げる動作である。

総合解説：実技では走行・横行の方向を混同しないことが重要である。

対象：2026-09-02

0042 巻上げ・走行・横行 > 走行・横行 | 難易度：基礎

問題：停止状態からクレーンを右向きに走行させ始めると、つり荷はクレーンに対して最初にどちらへ遅れやすいか。

- ア．右側
- イ．左側
- ウ．鉛直上方
- エ．全く動かない

答え・解説 正答：イ

ア：発進直後はクレーンの動きに荷が遅れる。
イ：正しい。荷は慣性により元の静止状態を保とうとするため、加速方向と反対側へ遅れる。
ウ：主な相対変位は走行方向に生じる。
エ：急加速すると荷振れが発生しやすい。

総合解説：発進時の荷振れ方向を理解すると、抑制操作のタイミングを考えやすい。

対象：2026-09-02

0043

巻上げ・走行・横行 > 走行・横行 | 難易度：基礎

問題：右向きに走行中のクレーンを減速停止した直後、つり荷はクレーンに対してどちらへ振れやすいか。

- ア．左側
- イ．鉛直上方
- ウ．右側
- エ．必ず静止したまま

答え・解説

正答：ウ

ア：停止直後は進行方向側へ振れやすい。
イ：主な振れは走行方向に生じる。
ウ：正しい。荷は慣性でそれまでの進行方向へ動き続けようとする。
エ：荷は慣性で振れやすい。

総合解説：発進時と停止時では、荷の相対的な振れ方向が逆になる。

対象：2026-09-02

0044

巻上げ・走行・横行 > 走行・横行 | 難易度：標準

問題：走行方向に曲がり位置や停止位置が近づいている。最も適切な操作はどれか。

- ア．位置を通過するまで最高速を維持する。
- イ．停止位置を越えてから逆転して戻る。
- ウ．荷の振れを見ずに速度だけ上げる。
- エ．早めに速度を落とし、荷振れを見ながら次の操作へ備える。

答え・解説

正答：エ

ア：急停止・経路逸脱を招く。
イ：不要な切返しと荷振れが増える。
ウ：安定運転にならない。
エ：正しい。先読みした減速で急停止やオーバーランを防げる。

総合解説：走行では現在位置だけでなく、数秒先の停止・方向転換を意識する。

対象：2026-09-02

0045

巻上げ・走行・横行 > 走行・横行 | 難易度：標準

問題：横行を始めた直後に荷が大きく反対方向へ遅れた。最も適切な運転方針はどれか。

- ア．さらに急加速せず、荷の動きを見ながら速度を調整する。
- イ．反対方向へ最大逆転を繰り返す。
- ウ．荷を見ずに最高速へ上げる。
- エ．障害物へ近づいても減速しない。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。急加速を重ねると振れ幅が大きくなりやすい。
- イ：振れを増幅する可能性がある。
- ウ：荷振れを把握できない。
- エ：接触危険が増える。

総合解説：横行操作では、トロリだけでなくつり荷の遅れを観察する。

対象：2026-09-02

0046

巻上げ・走行・横行 > 走行・横行 | 難易度：標準

問題：荷の現在位置から目標位置まで、走行方向にも横行方向にもずれている。最も適切な考え方はどれか。

- ア．走行だけで全てのずれを直そうとする。
- イ．経路と荷振れを見ながら、必要な走行・横行を順序立てて組み合わせる。
- ウ．横行だけで全てのずれを直そうとする。
- エ．荷振れを利用して位置を合わせる。

答え・解説

正答：イ

- ア：横行方向のずれは直せない。
- イ：正しい。二方向の位置ずれを把握し、無理のない操作で補正する。
- ウ：走行方向のずれは直せない。
- エ：不確実で危険な方法である。

総合解説：実技では二軸の位置関係を把握し、必要な方向を正しく選択する。

対象：2026-09-02

0047

巻上げ・走行・横行 > 走行・横行 | 難易度：標準

問題：走行を停止したが、荷は前後に振れている。次の横行操作へ移る前の判断として最も適切なものはどれか。

- ア．停止直後に必ず最大横行を入れる。
- イ．荷の振れは次の操作に影響しないので無視する。
- ウ．荷振れの大きさと方向を確認し、必要なら落ち着かせてから横行する。
- エ．荷が振れるほど速度を上げる。

答え・解説

正答：ウ

- ア：振れが複雑になりやすい。
- イ：位置誤差や接触の原因となる。
- ウ：正しい。残留振れが大きいまま別軸へ操作すると複合振動になりやすい。
- エ：振れを増幅しやすい。

総合解説：方向を変える前に荷の状態を一度確認することで、次の操作が安定する。

対象：2026-09-02

0048

巻上げ・走行・横行 > 走行・横行 | 難易度：標準

問題：走行経路のすぐ横に柱がある。柱付近を通過するときの速度として最も適切なのはどれか。

- ア．障害物付近ほど最高速度。
- イ．荷が振れていても速度を維持する。
- ウ．視認しにくいほど高速で通過する。
- エ．荷振れとクリアランスを確認できる低速。

答え・解説

正答：エ

- ア：接触時の危険が増え、修正余裕も減る。
- イ：接触範囲が広がる。
- ウ：確認できない状態ではむしろ減速・停止が必要である。
- エ：正しい。障害物近傍では停止・修正できる余裕を持つ必要がある。

総合解説：障害物付近では速度を落とし、荷の外形と振れ幅を含めて余裕を確認する。

対象：2026-09-02

0049

巻上げ・走行・横行 > 走行・横行 | 難易度：応用

問題：指定停止位置へ高い精度で止めたいが、荷には小さな進行方向振れがある。最も適切な操作はどれか。

- ア．振れの位相と停止位置を見ながら早めに減速し、低速で停止位置へ近づく。
- イ．停止位置直前まで高速を維持し、急停止する。
- ウ．振れ方向と無関係に逆転を繰り返す。
- エ．停止位置を一度通り過ぎる前提で運転する。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。位置と荷振れの両方を観察することで、オーバーランと振れ増大を抑えられる。
- イ：位置誤差と荷振れが増える。
- ウ：振幅を増やすことがある。
- エ：不要な修正が増える。

総合解説：精密停止では、早めの減速と荷振れ観察が重要である。

対象：2026-09-02

0050

巻上げ・走行・横行 > 走行・横行 | 難易度：応用

問題：走行停止後に前後振れが残り、目標位置へは横行方向にも修正が必要である。最も適切な方針はどれか。

- ア．前後振れ中に最大横行を加える。
- イ．まず大きな前後振れを抑え、その後に低速横行で位置を修正する。
- ウ．荷振れを利用して目標へ投げ込む。
- エ．位置ずれを無視してそのまま着床する。

答え・解説

正答：イ

- ア：複合振れが大きくなりやすい。
- イ：正しい。複数軸の振れを同時に増やすより、主な振れを落ち着かせて順に修正の方が安定する。
- ウ：制御不能になりやすい。
- エ：指定位置への卸しができない。

総合解説：複雑な状態ほど、操作を分解して一つずつ安定させる。

対象：2026-09-02

0051

巻上げ・走行・横行 > 複合操作・速度調整 | 難易度：基礎

問題：走行と巻上げを続けて行う場面で最も重要な考え方はどれか。

- ア．操作回数を減らすため常に最大速度で同時操作する。
- イ．荷の動きは見ずに操作盤だけを見る。
- ウ．各操作による荷の動きを確認し、急激な速度変化を重ねない。
- エ．複合操作では減速を行わない。

答え・解説

正答：ウ

- ア：荷振れや経路逸脱を起こしやすい。
- イ：荷の状態を把握できない。
- ウ：正しい。複数操作を行うほど荷の挙動が複雑になるため、荷を監視しながら滑らかに操作する必要がある。
- エ：停止・方向転換の余裕がなくなる。

総合解説：複合操作は『速く動かす技術』ではなく、『複数の運動を安全に管理する技術』として考える。

対象：2026-09-02

0052

巻上げ・走行・横行 > 複合操作・速度調整 | 難易度：基礎

問題：障害物の近くで走行と巻下げを同時に行っている。最も適切な対応はどれか。

- ア．障害物付近ほど二つの操作を最大にする。
- イ．荷の位置を見ずに操作を続ける。
- ウ．荷振れがあっても速度を上げる。
- エ．速度を落とし、必要なら操作を分けてクリアランスを確認する。

答え・解説

正答：エ

- ア：接触リスクが高まる。
- イ：クリアランスを確認できない。
- ウ：接触範囲が広がる。
- エ：正しい。障害物付近では複合操作を減らし、確認余裕を確保するのが安全である。

総合解説：複合操作は安全余裕が十分ある場所で行い、精密操作では単純化する。

対象：2026-09-02

0053

巻上げ・走行・横行 > 複合操作・速度調整 | 難易度：基礎

問題：長い直線経路を運搬する場合の速度調整として最も適切なものはどれか。

- ア．安全を確認して滑らかに加速し、安定区間では適切な速度を保ち、停止位置手前で早めに減速する。
- イ．全区間を最高速度と急停止だけで運転する。
- ウ．全区間を常に極端な低速だけで運転することが唯一の正解。
- エ．停止位置を過ぎてから減速を始める。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。経路の各段階に応じた速度調整が安定運転につながる。
- イ：荷振れと停止誤差が大きくなる。
- ウ：安全範囲内で状況に応じて速度を使い分けることが重要である。
- エ：遅すぎる。

総合解説：速度は一律ではなく、経路・障害物・荷振れ・停止位置に応じて調整する。

対象：2026-09-02

0054

巻上げ・走行・横行 > 複合操作・速度調整 | 難易度：標準

問題：走行方向へ加速しながら同時に横行方向へ急加速すると、荷の挙動は一般にどうなりやすいか。

- ア．荷振れが必ず0になる。
- イ．二方向の慣性が重なり、斜め方向を含む複雑な荷振れが生じやすい。
- ウ．荷は必ず鉛直上方へだけ動く。
- エ．走行と横行の影響は完全に独立し、荷には何も起きない。

答え・解説

正答：イ

- ア：複数方向の加速はむしろ振れを複雑にする。
- イ：正しい。二軸の加速度が同時に作用すると荷振れも二次元的になりやすい。
- ウ：水平二方向の慣性が作用する。
- エ：実際の荷は両方向の影響を同時に受ける。

総合解説：複合操作では荷の振れ方向が単純でなくなるため、急加速を避ける。

対象：2026-09-02

0055

巻上げ・走行・横行 > 複合操作・速度調整 | 難易度：標準

問題：荷のすぐ前に障害物があり、その先は広い直線経路である。最も適切な操作方針はどれか。

- ア．床すれすれのまま横移動を開始する。
- イ．障害物に当てながら荷を持ち上げる。
- ウ．先に必要な高さまで荷を巻き上げ、障害物を安全に越えられることを確認してから横移動する。
- エ．高さを確認せず最大走行する。

答え・解説

正答：ウ

- ア：障害物に接触しやすい。
- イ：荷や設備を損傷する。
- ウ：正しい。クリアランスを確保する前に横移動すると接触する危険がある。
- エ：経路安全を確認していない。

総合解説：操作順序は、まず障害物クリアランスを確保することを優先する。

対象：2026-09-02

0056

巻上げ・走行・横行 > 複合操作・速度調整 | 難易度：標準

問題：指定位置へ荷を卸す際の操作として最も適切なものはどれか。

- ア．横行最高速のまま巻下げて着床させる。
- イ．位置合わせは接地後に荷を引きずって行う。
- ウ．横方向のずれは無視して巻下げる。
- エ．横方向の位置を低速で合わせ、横移動を十分小さくしてから巻下げを進める。

答え・解説

正答：エ

- ア：横滑りや衝突が起こりやすい。
- イ：荷や床を損傷する危険がある。
- ウ：定位置への卸しができない。
- エ：正しい。接地直前に大きな横速度が残ると、荷が滑ったり位置ずれしたりする。

総合解説：着床では水平速度をほぼなくしてから鉛直方向の微調整へ移る。

対象：2026-09-02

0057

巻上げ・走行・横行 > 複合操作・速度調整 | 難易度：標準

問題：広い直線区間と狭い障害物区間で、操作方法をどう変えるのが適切か。

- ア．広い区間では安定した適切速度を使い、狭い区間では低速にして操作を単純化する。
- イ．狭い区間ほど高速・複合操作を増やす。
- ウ．どの区間でも同じ速度・同じ操作方法だけを使う。
- エ．広い区間では荷を見なくてよい。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。環境に応じて速度と操作数を変えることで安全余裕を確保できる。
- イ：確認余裕が減る。
- ウ：経路条件への適応ができない。
- エ：荷の監視は継続する必要がある。

総合解説：実技では、経路条件に合わせて速度・操作方法を変える適応力が重要である。

対象：2026-09-02

0058

巻上げ・走行・横行 > 複合操作・速度調整 | 難易度：標準

問題：複合操作中に荷振れが予想以上に大きくなった。最も適切な方針はどれか。

- ア．走行・横行・巻上げを同時に最大操作する。
- イ．操作を増やさず、減速して荷の動きを把握し、必要な一方向の調整から行う。
- ウ．振れ方向を見ずに反対操作を連打する。
- エ．荷が障害物へ近づいても操作を続ける。

答え・解説

正答：イ

- ア：振れをさらに複雑にする。
- イ：正しい。複雑な振れにさらに操作を重ねると制御が難しくなる。
- ウ：共振的に振れを増やす可能性がある。
- エ：まず安全停止・減速を優先する。

総合解説：荷振れが大きいほど、操作を単純化し一つずつ整える。

対象：2026-09-02

0059

巻上げ・走行・横行 > 複合操作・速度調整 | 難易度：応用

問題：実技で少し時間が遅れている。最も適切な速度調整方針はどれか。

- ア．遅れを取り戻すため全区間最高速度にする。
- イ．確認をすべて省略する。
- ウ．安全余裕のある直線区間では滑らかに適切速度まで上げ、障害物・停止位置では必ず十分減速する。
- エ．荷振れが大きくても速度だけ上げる。

答え・解説

正答：ウ

- ア：障害物・停止位置で危険が増す。
- イ：重大な誤操作につながる。
- ウ：正しい。安全を犠牲にせず、速度を使える区間と精密操作区間を分けるのが合理的である。
- エ：さらに時間を失う可能性が高い。

総合解説：速度管理では、危険の低い区間で効率を上げ、危険の高い区間では精度を優先する。

対象：2026-09-02

0060

巻上げ・走行・横行 > 複合操作・速度調整 | 難易度：応用

問題：荷を出発点から運ぶと、最初に低い障害物、次に90°方向転換、最後に狭い着床位置がある。最も適切な運転方針はどれか。

- ア．全区間で走行・横行・巻下げを同時に最大操作する。
- イ．障害物を低い高さで通過し、接触したら巻き上げる。
- ウ．方向転換も着床も最高速度のまま行う。
- エ．最初に必要高さを確保し、障害物通過後に減速して方向転換し、最後は一方向ずつ低速で位置合わせする。

答え・解説

正答：エ

- ア：各区間の安全条件を無視している。
- イ：接触前提の操作は不適切である。
- ウ：荷振れ・位置誤差が大きくなる。
- エ：正しい。各区間の目的に応じて、巻上げ・横移動・精密操作を段階的に使い分けている。

総合解説：経路を区間に分け、それぞれの危険と目的に合う操作へ切り替えることが実技の安定につながる。

対象：2026-09-02

0061 荷振れ抑制・経路運搬 > 荷振れの発生と抑制 | 難易度：基礎

問題：停止しているクレーンを急に走行させると荷振れが起きやすい主な理由はどれか。

- ア．つり荷が慣性により元の静止状態を保とうとするため。
- イ．荷の質量が急に0になるため。
- ウ．ワイヤロープが必ず伸び切るため。
- エ．重力の向きが変わるため。

答え・解説 正答：ア

- ア：正しい。クレーンが先に動き、荷が遅れることで振り子運動が始まる。
- イ：質量は変化しない。
- ウ：主因は慣性と加速度である。
- エ：重力の向きは変わらない。

総合解説：荷振れの基本原因は加減速による慣性である。

対象：2026-09-02

0062 荷振れ抑制・経路運搬 > 荷振れの発生と抑制 | 難易度：基礎

問題：右向きに走行中のクレーンを急停止すると、荷は停止直後にどちらへ振れやすいか。

- ア．左方向
- イ．右方向
- ウ．鉛直上方向
- エ．全く振れない

答え・解説 正答：イ

- ア：停止直後の初期振れは進行方向側である。
- イ：正しい。荷はそれまでの右向き運動を続けようとする。
- ウ：主な慣性は水平方向に現れる。
- エ：急停止ほど荷振れが起きやすい。

総合解説：発進時と停止時の荷振れ方向を区別する。

対象：2026-09-02

0063

荷振れ抑制・経路運搬 > 荷振れの発生と抑制 | 難易度：基礎

問題：同じ荷で、つりローブが長くなった場合の荷振れ周期は一般にどうなるか。

- ア．短くなる。
- イ．必ず0になる。
- ウ．長くなる。
- エ．長さに関係なく一定である。

答え・解説

正答：ウ

ア：一般的な振り子の関係と逆である。
イ：周期が消えるわけではない。
ウ：正しい。振り子としてみると、周期はローブ長さが長いほど長くなる。
エ：周期はつり長さに依存する。

総合解説：つり長さが変わると、荷振れを抑える操作タイミングも変わる。

対象：2026-09-02

0064

荷振れ抑制・経路運搬 > 荷振れの発生と抑制 | 難易度：基礎

問題：荷振れを小さくする発進操作として最も適切なものはどれか。

- ア．最初から最高速度にする。
- イ．正逆転を短時間で繰り返す。
- ウ．荷を見ずに加速する。
- エ．低速から滑らかに加速する。

答え・解説

正答：エ

ア：急加速で振れが大きくなりやすい。
イ：振れを増幅する可能性がある。
ウ：振れの発生を確認できない。
エ：正しい。加速度を急激に変えないことで荷への慣性作用を抑えられる。

総合解説：荷振れ抑制の基本は急操作を避けることである。

対象：2026-09-02

0065

荷振れ抑制・経路運搬 > 荷振れの発生と抑制 | 難易度：標準

問題：荷振れが生じたとき、抑制操作の前に最も確認すべきことはどれか。

- ア．荷がどちらへ、どの程度の速さで振れているか。
- イ．荷の色だけ。
- ウ．操作盤の製造年だけ。
- エ．試験会場の時計だけ。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。振れ方向とタイミングを見ずに操作すると、逆に振幅を増やすことがある。
- イ：振れ抑制には関係しない。
- ウ：振れの状態を把握できない。
- エ：荷の運動状態が優先される。

総合解説：荷振れ制御では、荷の位相を観察してから操作する。

対象：2026-09-02

0066

荷振れ抑制・経路運搬 > 荷振れの発生と抑制 | 難易度：標準

問題：荷振れを止めようとして、振れ方向を見ずに左右の逆転操作を何度も繰り返すことが不適切な理由はどれか。

- ア．逆転操作をすると荷の質量が増えるため。
- イ．操作のタイミングが振れと合うと、かえって振幅を増やすことがあるため。
- ウ．逆転操作は電源を必ず切るため。
- エ．荷振れは操作と無関係だから。

答え・解説

正答：イ

- ア：質量は変化しない。
- イ：正しい。周期的な操作が荷振れと同調すると振れを増幅し得る。
- ウ：その説明は一般的ではない。
- エ：操作タイミングは荷振れに大きく影響する。

総合解説：抑制操作は『反対へ動かせばよい』ではなく、荷の振れとタイミングを合わせる必要がある。

対象：2026-09-02

0067

荷振れ抑制・経路運搬 > 荷振れの発生と抑制 | 難易度：標準

問題：長い直線走行から停止位置へ近づく際、荷振れを抑えやすい操作はどれか。

- ア．停止位置直前まで最高速を維持する。
- イ．停止位置を越えてから逆転する。
- ウ．停止位置の十分手前から段階的に減速する。
- エ．減速せずブレーキだけに任せる。

答え・解説

正答：ウ

- ア：急減速が必要になり振れが大きくなる。
- イ：振れと位置誤差が増える。
- ウ：正しい。急停止を避けることで荷の前振れを小さくできる。
- エ：急停止になりやすい。

総合解説：荷振れ抑制は、停止操作のかなり前から始まる。

対象：2026-09-02

0068

荷振れ抑制・経路運搬 > 荷振れの発生と抑制 | 難易度：標準

問題：走行方向の荷振れが大きく残っている状態で、横行方向の位置修正も必要である。最も適切な方針はどれか。

- ア．最大横行を追加して二方向同時に振らせる。
- イ．振れを無視して巻下げする。
- ウ．両方向へ無作為に逆転する。
- エ．まず大きい走行方向の振れを落ち着かせ、その後に横行修正する。

答え・解説

正答：エ

- ア：制御が難しくなる。
- イ：接地時の横滑りにつながる。
- ウ：振れを増幅する可能性がある。
- エ：正しい。複数方向の振れを同時に増やさず、主な振れから順に処理する。

総合解説：複合振れでは、操作を単純化して一方向ずつ整える。

対象：2026-09-02

0069

荷振れ抑制・経路運搬 > 荷振れの発生と抑制 | 難易度：標準

問題：荷振れが予想以上に大きくなり、前方には障害物がある。最も適切な対応はどれか。

- ア．障害物へ近づく前に減速・停止し、荷振れを小さくする。
- イ．速度を上げて障害物を通過する。
- ウ．荷の振れを利用して障害物の横をすり抜ける。
- エ．障害物に接触させて振れを止める。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。振れ幅を含めた荷の移動範囲を管理できる状態に戻す。
- イ：振れ幅と接触危険が増える。
- ウ：安全余裕がない。
- エ：荷や設備を損傷する。

総合解説：障害物付近では荷振れを許容せず、必要なら一度停止する。

対象：2026-09-02

0070

荷振れ抑制・経路運搬 > 荷振れの発生と抑制 | 難易度：標準

問題：運搬中に小さな荷振れが始まった。最も適切な考え方はどれか。

- ア．小さい振れは必ず自然に0になるので無視する。
- イ．大きくなる前に荷の動きを観察し、滑らかな速度調整で抑える。
- ウ．小さいうちに最大逆転を繰り返す。
- エ．着床まで一切見ない。

答え・解説

正答：イ

- ア：操作条件によっては増幅する。
- イ：正しい。小さい段階で対処すれば、障害物付近での大きな修正を減らせる。
- ウ：振れを大きくする可能性がある。
- エ：経路中の接触リスクが増える。

総合解説：荷振れは早めに把握し、必要最小限の操作で整える。

対象：2026-09-02

0071 荷振れ抑制・経路運搬 > 荷振れの発生と抑制 | 難易度：応用

問題：同じ運転操作でも、つりローブを長くしたときに荷振れ抑制のタイミングを変える必要がある主な理由はどれか。

- ア．ローブが長いと荷の質量が増えるため。
- イ．ローブが長いと重力が弱くなるため。
- ウ．荷振れの周期が長くなり、荷が戻ってくるタイミングが変わるため。
- エ．ローブ長さは荷振れに一切影響しないため。

答え・解説 正答：ウ

- ア：荷の質量は変わらない。
- イ：重力加速度が大きく変わるわけではない。
- ウ：正しい。ローブ長さが変われば振り子の周期が変わる。
- エ：周期に影響する。

総合解説：荷振れ抑制は機械的な固定タイミングではなく、実際の荷の動きを見て合わせる。

対象：2026-09-02

0072 荷振れ抑制・経路運搬 > 荷振れの発生と抑制 | 難易度：応用

問題：直線経路を運搬し、指定位置で停止するまで荷振れを小さく保つ方針として最も適切なのはどれか。

- ア．急発進し、最高速を維持し、最後に急停止する。
- イ．発進時だけ慎重にし、停止は急に行う。
- ウ．荷を見ず、操作装置の位置だけで運転する。
- エ．滑らかに発進し、安定後に適切速度で運搬し、十分手前から減速して荷の動きを見ながら停止する。

答え・解説 正答：エ

- ア：各段階で振れが増えやすい。
- イ：停止時に大きな前振れが出る。
- ウ：荷振れの状態を把握できない。
- エ：正しい。発進から停止まで加速度変化を管理することで振れを抑えられる。

総合解説：荷振れ対策は一つのテクニックではなく、運搬全体の加減速計画で行う。

対象：2026-09-02

0073

荷振れ抑制・経路運搬 > 指定経路の通過・障害物回避 | 難易度：基礎

問題：実技試験の運搬経路について最も適切な説明はどれか。

- ア．定められた経路に沿って荷を運搬する。
- イ．最短距離なら指定経路を外れてよい。
- ウ．途中経路は採点対象になり得ないので自由である。
- エ．荷を持ち上げず床上を引きずればよい。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。実技試験規程に明示されている。
- イ：定められた経路による運搬が課題である。
- ウ：公式課題自体に定められた経路が含まれる。
- エ：荷をつり上げて運搬する課題である。

総合解説：経路の形状そのものの細部は会場等で異なり得るが、『定められた経路を通る』ことは公式要件である。

対象：2026-09-02

0074

荷振れ抑制・経路運搬 > 指定経路の通過・障害物回避 | 難易度：基礎

問題：障害物の上を荷が通過する場合の基本として最も適切なものはどれか。

- ア．静止時に1mm空いていれば十分である。
- イ．荷の振れ幅も考慮し、十分なクリアランスを確保する。
- ウ．障害物へ軽く当てながら通過する。
- エ．荷を見ずに通過する。

答え・解説

正答：イ

- ア：荷振れや操作誤差を考慮できていない。
- イ：正しい。静止時の荷寸法だけでなく振れによる移動範囲も考える。
- ウ：接触事故となる。
- エ：クリアランス確認ができない。

総合解説：障害物回避では、荷の外形＋振れ幅＋操作誤差を見込んだ余裕が必要である。

対象：2026-09-02

0075

荷振れ抑制・経路運搬 > 指定経路の通過・障害物回避 | 難易度：基礎

問題：経路の先が見えにくく、障害物の有無を十分確認できない。最も適切な行動はどれか。

- ア．見えないほど高速で通過する。
- イ．荷を大きく振らせて先を探る。
- ウ．速度を落とすか停止して、安全を確認してから進む。
- エ．経路確認を省略する。

答え・解説

正答：ウ

- ア：確認余裕がさらに減る。
- イ：危険な方法である。
- ウ：正しい。確認できない状態で進行し続けるべきではない。
- エ：指定経路と周囲の安全確認が必要である。

総合解説：視認性が悪い状況では、確認できる速度まで落とす。

対象：2026-09-02

0076

荷振れ抑制・経路運搬 > 指定経路の通過・障害物回避 | 難易度：標準

問題：指定経路が直角に曲がる地点へ近づいている。最も適切な操作はどれか。

- ア．曲がり角まで最高速度で進み、同時に最大横行する。
- イ．曲がり角を通り過ぎてから逆転する。
- ウ．荷を見ずに方向だけ切り替える。
- エ．曲がり角手前で減速し、荷振れを小さくしてから次方向へ操作する。

答え・解説

正答：エ

- ア：複合振れと経路逸脱を招く。
- イ：不要な修正が増える。
- ウ：荷の遅れを把握できない。
- エ：正しい。大きな振れを残したまま方向転換すると斜め振れが生じやすい。

総合解説：方向転換前に速度と振れを落ち着かせる。

対象：2026-09-02

0077 荷振れ抑制・経路運搬 > 指定経路の通過・障害物回避 | 難易度：標準

問題：細長い荷を狭い区間へ通すときに最も重要な確認はどれか。

- ア．荷の長手方向を含む外形と振れ範囲が障害物へ接触しないこと。
- イ．フックが通れば荷全体も必ず通ると考える。
- ウ．荷の端部は見なくてよい。
- エ．狭いほど速度を上げる。

答え・解説 正答：ア

- ア：正しい。フック位置だけでなく荷全体の外形を考慮する。
- イ：細長い荷では端部が接触する可能性がある。
- ウ：接触しやすい部分である。
- エ：修正余裕が減る。

総合解説：経路判断では、荷の中心だけでなく最外周を意識する。

対象：2026-09-02

0078 荷振れ抑制・経路運搬 > 指定経路の通過・障害物回避 | 難易度：標準

問題：指定経路上へ人が入ってきた。最も適切な対応はどれか。

- ア．指定経路なので人の上をそのまま通る。
- イ．安全に停止し、人が退避して安全を確認してから再開する。
- ウ．速度を上げて先に通過する。
- エ．荷を振らせて人をどかす。

答え・解説 正答：イ

- ア：人への危険がある。
- イ：正しい。経路遵守よりも人の安全確保が優先される。
- ウ：接触リスクが増える。
- エ：重大な危険を生む。

総合解説：指定経路は安全を犠牲にしてまで維持するものではない。

対象：2026-09-02

0079

荷振れ抑制・経路運搬 > 指定経路の通過・障害物回避 | 難易度：標準

問題：障害物の横を通るとき、直前で大きな位置修正をしないために有効な方法はどれか。

- ア．障害物の真横で初めて位置を確認する。
- イ．振れを利用してすり抜ける。
- ウ．十分手前から荷の位置と振れを確認し、進入ラインを整える。
- エ．荷の位置は停止後だけ確認する。

答え・解説

正答：ウ

- ア：修正余裕が少ない。
- イ：不安定である。
- ウ：正しい。早めに位置を合わせることで障害物付近の急操作を減らせる。
- エ：運搬中の経路管理ができない。

総合解説：障害物回避は直前操作ではなく、進入前の準備が重要である。

対象：2026-09-02

0080

荷振れ抑制・経路運搬 > 指定経路の通過・障害物回避 | 難易度：標準

問題：一つの障害物を無事通過した直後の行動として最も適切なものはどれか。

- ア．通過したので荷を見なくてよい。
- イ．必ず最高速度へ即座に戻る。
- ウ．次の経路に関係なく同じ操作を続ける。
- エ．荷の振れと次の経路を確認し、必要に応じて速度を調整する。

答え・解説

正答：エ

- ア：次の経路でも監視が必要である。
- イ：荷振れや次の障害物を確認してから速度を決める。
- ウ：区間ごとの条件に適應できない。
- エ：正しい。障害物通過時の操作で残った荷振れが次区間へ影響する。

総合解説：経路運搬は区間ごとに状態を再評価する。

対象：2026-09-02

0081 荷振れ抑制・経路運搬 > 指定経路の通過・障害物回避 | 難易度：応用

問題：高さの異なる障害物が複数ある経路を運ぶ場合、最も適切な計画はどれか。

- ア．経路全体を見て必要なクリアランスを把握し、障害物付近では低速にする。
- イ．最初の障害物だけ基準に高さを決める。
- ウ．最も高い障害物に荷を当てて高さを確認する。
- エ．全経路で最高速度を維持する。

答え・解説 正答：ア

- ア：正しい。個々の障害物だけでなく経路全体から高さと速度を計画する。
- イ：後の障害物へ接触する可能性がある。
- ウ：危険である。
- エ：障害物付近で安全余裕が不足する。

総合解説：高さ計画と速度計画は一体で考える。

対象：2026-09-02

0082 荷振れ抑制・経路運搬 > 指定経路の通過・障害物回避 | 難易度：応用

問題：荷が指定経路から少し外れ、同時に大きな荷振れも生じている。最も適切な対応はどれか。

- ア．荷振れ中に最大操作で一気に経路へ戻す。
- イ．まず減速して荷振れを落ち着かせ、その後に低速で経路へ戻す。
- ウ．経路逸脱を無視してそのまま進む。
- エ．障害物へ荷を当てて位置を戻す。

答え・解説 正答：イ

- ア：制御が難しくなる。
- イ：正しい。不安定な状態で大きな横修正をすると振れと逸脱がさらに増える。
- ウ：指定経路を外れたままになる。
- エ：危険な方法である。

総合解説：異常時は『安定化→位置修正』の順に処理する。

対象：2026-09-02

0083

荷振れ抑制・経路運搬 > 位置合わせ・着床 | 難易度：基礎

問題：荷を指定位置へ卸す直前の状態として最も適切なものはどれか。

- ア．横行最高速度のまま巻下げる。
- イ．荷振れを利用して位置へ投げ込む。
- ウ．走行・横行の速度を十分小さくし、荷の水平移動をほぼ止めてから巻下げる。
- エ．位置ずれを無視して先に床へ着ける。

答え・解説

正答：ウ

- ア：接地時の横滑りや衝突を招く。
- イ：制御不能になりやすい。
- ウ：正しい。横方向の速度が残ったまま接地すると、荷が滑ったり位置ずれしたりしやすい。
- エ：定位置への卸しができない。

総合解説：着床は水平運動を落ち着かせてから、鉛直方向の微調整へ移る。

対象：2026-09-02

0084

荷振れ抑制・経路運搬 > 位置合わせ・着床 | 難易度：基礎

問題：荷が着床位置のすぐ上まで来た。巻下げ操作として最も適切なものはどれか。

- ア．最高速度のまま接地させる。
- イ．荷の位置を見ずに巻下げる。
- ウ．荷振れが大きいほど速く下ろす。
- エ．低速で少しずつ下げ、位置と荷の安定を確認する。

答え・解説

正答：エ

- ア：衝撃荷重が大きくなる。
- イ：定位置へ卸せない。
- ウ：横滑り・接触の危険が増す。
- エ：正しい。着床直前は衝撃と位置ずれを防ぐため精密操作が必要である。

総合解説：最後の数十cmは速度より精度を優先する。

対象：2026-09-02

0085

荷振れ抑制・経路運搬 > 位置合わせ・着床 | 難易度：標準

問題：荷が着床面の10cm上にあるが、目標から横方向にずれている。最も適切な対応はどれか。

- ア．その高さを保つか必要な安全高さを確保し、低速で横位置を合わせてから巻下げる。
- イ．そのまま接地させ、床上で引きずって合わせる。
- ウ．位置ずれを無視して終了する。
- エ．最大横行で一気に位置を合わせる。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。接地後に引きずって修正するより、空中で安全に微調整する方が適切である。
- イ：荷・床・つり具を傷めるおそれがある。
- ウ：定められた位置への卸しという課題を満たさない。
- エ：オーバーシュートや荷振れを招く。

総合解説：位置合わせは、着床前に低速で行う。

対象：2026-09-02

0086

荷振れ抑制・経路運搬 > 位置合わせ・着床 | 難易度：標準

問題：着床位置の真上に来たが、荷が左右に振れている。最も適切な対応はどれか。

- ア．振れが最大の瞬間に床へ押し付けて止める。
- イ．振れを小さくしてから低速で着床する。
- ウ．振れを無視して最高速で下ろす。
- エ．走行を追加してさらに振れを大きくする。

答え・解説

正答：イ

- ア：衝撃や転倒の危険がある。
- イ：正しい。振れたまま接地すると横滑りや片当たりが生じやすい。
- ウ：危険が大きい。
- エ：着床精度が低下する。

総合解説：荷が安定した状態で接地させることが基本である。

対象：2026-09-02

0087

荷振れ抑制・経路運搬 > 位置合わせ・着床 | 難易度：標準

問題：底面の広い荷を着床させる際、一方の角だけを強く先に接地させることが望ましくない主な理由はどれか。

- ア．片当たりすると荷の質量が減るから。
- イ．片当たりすると定格荷重が増えるから。
- ウ．荷が傾いたり横へずれたりし、つり具に不均等な力がかかるおそれがあるため。
- エ．一方の角から着けるほど必ず安定するから。

答え・解説

正答：ウ

- ア：質量は変わらない。
- イ：クレーン能力は変わらない。
- ウ：正しい。できるだけ安定した姿勢で接地させることが重要である。
- エ：むしろ姿勢を崩す場合がある。

総合解説：着床時は荷の姿勢も確認し、安定した支持状態へ移す。

対象：2026-09-02

0088

荷振れ抑制・経路運搬 > 位置合わせ・着床 | 難易度：標準

問題：荷が指定位置へ接地した直後の操作として最も適切なものはどれか。

- ア．接地した瞬間に大きく巻下げてロープをたるませる。
- イ．荷が安定したか確認せずフックを横へ引く。
- ウ．接地後もロープを強く巻き上げ続ける。
- エ．荷が安定して支持されていることを確認し、必要に応じてゆっくりロープ張力を抜く。

答え・解説

正答：エ

- ア：荷の安定確認前に張力を失う。
- イ：荷やつり具が動く危険がある。
- ウ：荷が再び浮く可能性がある。
- エ：正しい。接地が不安定なまま急にロープをたるませると荷が傾くことがある。

総合解説：着床後も、荷が完全に安定するまで操作は終わっていない。

対象：2026-09-02

0089

荷振れ抑制・経路運搬 > 位置合わせ・着床 | 難易度：応用

問題：着床位置の真上で荷振れはほぼないが、目標から数cmだけ横にずれている。最も適切な修正はどれか。

- ア．荷の高さと周囲の余裕を確認し、低速で必要最小限だけ横移動して再停止する。
- イ．最大速度で大きく行き過ぎてから戻す。
- ウ．荷を床へ接触させて押しずらす。
- エ．振れを作って目標へ合わせる。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。小さなずれには小さな操作で対応する。
- イ：不要な振れと修正を生む。
- ウ：荷や床を傷める可能性がある。
- エ：精度と安全性が低い。

総合解説：精密位置合わせでは、操作量を小さくし、停止後の残留運動も確認する。

対象：2026-09-02

0090

荷振れ抑制・経路運搬 > 位置合わせ・着床 | 難易度：応用

問題：指定位置へ近づいた時点で、荷は少し高く、わずかに前振れし、横方向にも数cmずれている。最も適切な操作順はどれか。

- ア．前振れ中に最大横行と最大巻下げを同時に行う。
- イ．減速して振れを小さくし、低速で横位置を合わせ、その後ゆっくり巻下げて着床する。
- ウ．先に床へ接触させ、引きずって横位置を合わせる。
- エ．高さ・振れ・横ずれを無視してそのまま停止する。

答え・解説

正答：イ

- ア：複雑な振れと位置ずれを招く。
- イ：正しい。まず動的な不安定を抑え、水平位置を合わせ、最後に鉛直方向へ卸す順序が合理的である。
- ウ：荷や床への負担が大きい。
- エ：定位置への安全な卸しにならない。

総合解説：着床前は『振れを抑える→水平位置を合わせる→低速で下ろす』と段階化すると安定しやすい。

対象：2026-09-02

0091

運転のための合図 > 手による標準合図 | 難易度：基礎

問題：厚生労働省系資料で紹介される一般的なクレーン手合図のうち、「呼出し」に相当する動作はどれか。

- ア．片手を高く上げる。
- イ．両手を低い位置で交差させる。
- ウ．片手で地面を指し続ける。
- エ．両手を激しく左右に振る。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。一般的な手合図例では、呼出しは片手を高く上げて運転者の注意を引く。
- イ：一般的な呼出しの例ではない。
- ウ：位置の指示とも異なる。
- エ：一般的には急停止の合図に用いられる。

総合解説：合図はまず運転者の注意を確実に得てから、具体的な操作指示へ移る。

対象：2026-09-02

0092

運転のための合図 > 手による標準合図 | 難易度：基礎

問題：一般的なクレーン手合図で、荷やフックを移動させたい位置を示す方法として適切なものはどれか。

- ア．目的位置とは反対方向を指す。
- イ．できるだけ分かりやすい位置から、指で目的位置を示す。
- ウ．位置を示さず、巻上げ合図だけを繰り返す。
- エ．運転者から見えない場所で小さく手を動かす。

答え・解説

正答：イ

- ア：誤操作を招く。
- イ：正しい。位置の指示は、運転者が誤認しないよう目的位置を明確に指し示す。
- ウ：水平位置の指示にはならない。
- エ：合図を認識できない。

総合解説：位置指示は『どこへ動かすか』を明確に伝える合図である。

対象：2026-09-02

0093

運転のための合図 > 手による標準合図 | 難易度：基礎

問題：一般的なクレーン手合図で「巻上げ」を示す動作として適切なものはどれか。

- ア．腕を水平にして手のひらを下へ向け、下方に振る。
- イ．両手を高く上げて激しく左右へ振る。
- ウ．片手を上げて輪を描く。
- エ．手のひらを高く上げて静止させる。

答え・解説

正答：ウ

ア：一般的には巻下げの合図である。
イ：一般的には急停止である。
ウ：正しい。厚生労働省系資料では、巻上げは片手を高く上げて輪を描く例が示されている。
エ：一般的には停止の合図である。

総合解説：巻上げ・巻下げ・停止は混同すると重大な誤操作につながるため、明瞭に区別する。

対象：2026-09-02

0094

運転のための合図 > 手による標準合図 | 難易度：基礎

問題：一般的なクレーン手合図で「巻下げ」を示す動作として適切なものはどれか。

- ア．片手を高く上げて輪を描く。
- イ．両手を頭上で交差させる。
- ウ．手のひらを移動方向へ向けて数回動かす。
- エ．腕をほぼ水平に上げ、手のひらを下にして下方へ振る。

答え・解説

正答：エ

ア：一般的には巻上げである。
イ：一般的には作業完了の表現例である。
ウ：一般的には水平移動を示す。
エ：正しい。厚生労働省系資料で紹介される一般的な巻下げ合図である。

総合解説：巻下げでは下方への動作を明確にし、巻上げと取り違えないことが重要である。

対象：2026-09-02

0095

運転のための合図 > 手による標準合図 | 難易度：標準

問題：一般的なクレーン手合図で、走行・横行などの水平移動方向を示す方法として適切なものはどれか。

- ア．腕を見やすい位置に伸ばし、手のひらを移動方向に向けて数回転かす。
- イ．両手を高く上げて激しく左右に振る。
- ウ．片手を上げて輪だけを描く。
- エ．手のひらを下へ向けて上下に振る。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。水平移動では、運転者に移動方向が明確に伝わるよう手のひらの向きと動きで示す。
- イ：急停止と誤認される。
- ウ：巻上げと誤認される。
- エ：巻下げと誤認される可能性がある。

総合解説：水平移動では、方向を明確に示すことが最も重要である。

対象：2026-09-02

0096

運転のための合図 > 手による標準合図 | 難易度：標準

問題：着床直前など、ごく小さい移動量だけ操作してほしい場合に用いる「微動」合図の目的として最も適切なものはどれか。

- ア．直ちに最高速度へ上げることを伝える。
- イ．通常より小さな操作量で、慎重に少しずつ動かすことを伝える。
- ウ．作業終了を伝える。
- エ．必ず全ての動作を同時に行うことを伝える。

答え・解説

正答：イ

- ア：微動の意味と逆である。
- イ：正しい。微動は位置合わせなどで必要な小さい移動を運転者へ伝える。
- ウ：作業完了とは別の合図である。
- エ：微動は小さい操作量を指示する。

総合解説：微動では、移動方向の合図と組み合わせながら操作量を小さくする意図を明確にする。

対象：2026-09-02

0097

運転のための合図 > 手による標準合図 | 難易度：標準

問題：一般的なクレーン手合図で「停止」を示す動作として適切なものはどれか。

- ア．片手を上げて輪を描き続ける。
- イ．手のひらを移動方向へ向けて動かす。
- ウ．節度をつけて、手のひらを開いて高く上げる。
- エ．両手を激しく大きく左右に振る。

答え・解説

正答：ウ

- ア：巻上げである。
- イ：水平移動である。
- ウ：正しい。一般的な停止合図として示されている。
- エ：急停止の合図である。

総合解説：通常停止と急停止は区別し、運転者が瞬時に識別できるよう明確に行う。

対象：2026-09-02

0098

運転のための合図 > 手による標準合図 | 難易度：標準

問題：一般的なクレーン手合図で「急停止」を示す動作として適切なものはどれか。

- ア．片手を静かに高く上げたままにする。
- イ．指で目的位置を示す。
- ウ．片手で輪を描く。
- エ．両手を広げて高く上げ、激しく左右に大きく振る。

答え・解説

正答：エ

- ア：通常停止と区別しにくい。
- イ：位置指示である。
- ウ：巻上げである。
- エ：正しい。緊急性を明確に伝えるため、通常停止より大きく強い動作で示す。

総合解説：急停止は危険回避のため一目で分かる大きな動作で示す。

対象：2026-09-02

0099

運転のための合図 > 手による標準合図 | 難易度：標準

問題：一般的なクレーン手合図で「作業完了」を示す例として適切なものはどれか。

- ア．挙手の礼、又は両手を頭上で交差させる。
- イ．片手を上げて輪を描く。
- ウ．手のひらを下へ向けて下方へ振る。
- エ．両手を激しく左右へ振り続ける。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。厚生労働省系資料で一般的な作業完了の表現例として紹介されている。
イ：巻上げである。
ウ：巻下げである。
エ：急停止である。

総合解説：作業完了は、運転を続ける合図と誤認されないよう明確に行う。

対象：2026-09-02

0100

運転のための合図 > 手による標準合図 | 難易度：標準

問題：荷が通常の停止位置へ近づいた場合と、人が突然つり荷の進路へ入った場合の合図の使い分けとして最も適切なものはどれか。

- ア．どちらの場合も必ず作業完了だけを示す。
- イ．通常の位置合わせでは停止、切迫した危険では急停止を用いる。
- ウ．切迫した危険でも微動だけを示す。
- エ．通常停止位置でも必ず急停止を連続する。

答え・解説

正答：イ

ア：運転制御の意味が伝わらない。
イ：正しい。停止は通常の運転制御、急停止は緊急危険の回避を目的として使い分ける。
ウ：危険回避のため直ちに停止させる必要がある。
エ：緊急合図を常用すると意味が曖昧になる。

総合解説：緊急性に応じて停止合図を使い分けることが、明確な意思疎通につながる。

対象：2026-09-02

0101

運転のための合図 > 手による標準合図 | 難易度：応用

問題：運転者から距離のある位置で手合図を行う場合、最も適切な方法はどれか。

- ア．体の陰に手を隠して小さく合図する。
- イ．巻上げと停止を同時に示す。
- ウ．運転者から見える位置に立ち、動作を大きく明瞭にして、一つの意味が確実に伝わるようにする。
- エ．運転者が見ていなくても合図を続けるだけでよい。

答え・解説

正答：ウ

- ア：運転者から確認できない。
- イ：相反する指示で混乱を招く。
- ウ：正しい。小さく曖昧な動作は合図の誤認につながる。
- エ：合図が認識されたことを確認する必要がある。

総合解説：合図は形を覚えるだけでなく、視認性・明瞭性・一義性が重要である。

対象：2026-09-02

0102

運転のための合図 > 手による標準合図 | 難易度：応用

問題：クレーンの手合図について法令と一般的な標準例の関係として最も適切な説明はどれか。

- ア．法令本文が全ての手指の角度まで全国一律に指定している。
- イ．一般的な手合図例はあるが、現場では各人が自由に変えてよい。
- ウ．合図は運転者が推測できれば定めなくてよい。
- エ．法令は作業場で一定の合図を定めることを求め、厚生労働省資料等では一般的な手合図例が示されているため、現場では定めた合図を統一して使用する。

答え・解説

正答：エ

- ア：クレーン等安全規則は一定の合図を定めることを求める。
- イ：合図を一定・統一して運用する必要がある。
- ウ：法令上、一定の合図を定めることが求められる。
- エ：正しい。法令が全国一律の各ジェスチャーを条文で列挙しているのではなく、一定の合図を定めて運用することが要点である。

総合解説：教材では一般的な手合図例を学ぶ一方、実際の作業では事前に定められた合図に従う。

対象：2026-09-02

0103

運転のための合図 > 小旗等による合図 | 難易度：基礎

問題：クレーン・デリック運転士の実技試験規程で、「クレーンの運転のための合図」に用いるものとして明示されているのはどれか。

- ア．手、小旗等
- イ．携帯電話だけ
- ウ．無線機だけ
- エ．運転者の推測だけ

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。公式規程は、荷のつり上げ・運搬・卸しについて、手、小旗等を用いて合図すると定めている。
イ：公式規程で合図手段としてこのように限定されていない。
ウ：公式規程は手、小旗等を明示している。
エ：合図は明確に伝達する必要がある。

総合解説：小旗は、手合図と同様に運転者へ明確な動作指示を伝えるための手段である。

対象：2026-09-02

0104

運転のための合図 > 小旗等による合図 | 難易度：基礎

問題：小旗を使ってクレーンの合図を行う場合、最も重要な基本はどれか。

- ア．合図者がその場で毎回違う意味を決める。
- イ．旗の動きが何を意味するかを事前に定め、運転者と合図者で統一しておく。
- ウ．運転者が推測できるよう旗を適当に振る。
- エ．旗の色だけで全ての操作を区別し、動きは決めない。

答え・解説

正答：イ

ア：誤認につながる。
イ：正しい。小旗を使う場合でも、一定の合図を定めて共通理解を持つことが必要である。
ウ：明確な意思伝達にならない。
エ：現場で定めた明確な合図体系が必要である。

総合解説：合図手段が手から小旗へ変わっても、『一定の合図を定める』という原則は変わらない。

対象：2026-09-02

0105

運転のための合図 > 小旗等による合図 | 難易度：標準

問題：小旗を使う合図で運転者から見えにくい位置にいる場合、最も適切な対応はどれか。

- ア．見えない位置のまま小さく旗を振る。
- イ．運転者が見えなくても作業を進める。
- ウ．安全な範囲で運転者から見える位置へ移り、旗の動作を大きく明瞭にする。
- エ．旗を地面に置いて合図の代わりにする。

答え・解説

正答：ウ

- ア：合図が伝わらない。
- イ：誤操作の危険がある。
- ウ：正しい。合図は運転者に確実に視認されることが前提である。
- エ：動作指示を明確に伝えられない。

総合解説：小旗は遠距離でも視認しやすい利点があるが、遮蔽物や死角があると意味がない。

対象：2026-09-02

0106

運転のための合図 > 小旗等による合図 | 難易度：標準

問題：小旗で巻上げを指示している最中に停止させたい。最も適切な合図方法はどれか。

- ア．巻上げと停止の旗合図を同時に続ける。
- イ．何も合図せず運転者の判断に任せる。
- ウ．旗を隠して作業を継続する。
- エ．巻上げの合図をやめ、定めた停止合図を明確に示す。

答え・解説

正答：エ

- ア：運転者が判断できず危険である。
- イ：停止意図が伝わらない。
- ウ：合図が伝達されない。
- エ：正しい。相反する合図を同時に出さず、現在必要な一つの指示を明確にする。

総合解説：合図は一義的であることが重要であり、指示を変更するときは前の合図を明確に終える。

対象：2026-09-02

0107

運転のための合図 > 小旗等による合図 | 難易度：標準

問題：同じ作業場で、ある合図者は手合図、別の合図者は小旗を使う。最も適切な運用はどれか。

- ア．どちらを使う場合も意味を統一し、運転者が混乱しないよう事前に確認する。
- イ．同じ動作に別々の意味を割り当てる。
- ウ．合図者ごとに独自ルールを使う。
- エ．運転者には合図体系を知らせない。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。手段が異なっても、操作指示の意味は統一しておく必要がある。
- イ：誤操作の原因となる。
- ウ：一定の合図という原則に反する。
- エ：連携できない。

総合解説：合図の媒体より、意味の共通化と誤認防止が重要である。

対象：2026-09-02

0108

運転のための合図 > 小旗等による合図 | 難易度：標準

問題：運搬中、建物の柱で合図者の小旗が見えなくなった。運転者として最も適切な対応はどれか。

- ア．直前の合図が続いていると推測してそのまま進む。
- イ．安全に停止し、合図を再び確認できる状態になってから運転を再開する。
- ウ．速度を上げて早く死角を抜ける。
- エ．合図者を無視して独自判断で経路を変更する。

答え・解説

正答：イ

- ア：状況が変化している可能性がある。
- イ：正しい。合図が確認できない状態で推測運転を続けるべきではない。
- ウ：危険が増える。
- エ：連携が失われる。

総合解説：視認できない合図は存在しないのと同じであり、確認できるまで停止するのが安全である。

対象：2026-09-02

0109

運転のための合図 > 小旗等による合図 | 難易度：応用

問題：屋外で背景が複雑な場所から小旗合図を行う場合、最も適切な工夫はどれか。

- ア．背景と同化する位置で小さく動かす。
- イ．運転者から背を向けて旗を振る。
- ウ．運転者から識別しやすい位置を選び、旗の動作を大きくして背景と重ならないようにする。
- エ．旗を動かさず、運転者に意味を推測させる。

答え・解説

正答：ウ

- ア：視認性が低下する。
- イ：合図が伝わりにくい。
- ウ：正しい。遠距離では旗の存在だけでなく、動きの識別性が重要である。
- エ：合図にならない。

総合解説：小旗は視認性向上に有効だが、位置・背景・動作の大きさを考慮する必要がある。

対象：2026-09-02

0110

運転のための合図 > 小旗等による合図 | 難易度：応用

問題：小旗によるクレーン合図について最も適切な説明はどれか。

- ア．小旗の全ての角度・振る回数が労働安全衛生法本文で全国一律に規定されている。
- イ．小旗なら合図内容を事前に決めなくてもよい。
- ウ．小旗は実技試験で使用できない。
- エ．公式試験規程は小旗等の使用を認めているが、実作業では事業者等が定めた一定の合図を事前に確認して用いる。

答え・解説

正答：エ

- ア：法令は一定の合図を定めることを中心に規定している。
- イ：一定の合図を定める必要がある。
- ウ：公式規程に手、小旗等と明示されている。
- エ：正しい。小旗という媒体は公式に示される一方、作業場では合図の意味を定めて統一する必要がある。

総合解説：教材では、公式に根拠のある範囲と、現場で定める具体的運用を区別する。

対象：2026-09-02

0111

運転のための合図 > 合図者との連携・確認 | 難易度：基礎

問題：クレーンを用いて複数人で作業する場合、運転の合図について事業者が行うこととして正しいものはどれか。

- ア．一定の合図を定め、合図を行う者を指名する。
- イ．作業者全員が同時に自由な合図を出す。
- ウ．合図を定めず運転者の推測に任せる。
- エ．合図者を定めるが、合図の意味は決めない。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。クレーン等安全規則第25条の基本原則である。
- イ：指示が競合し危険である。
- ウ：法令上の原則に反する。
- エ：一定の合図を定める必要がある。

総合解説：『誰が』『どの合図を』出すかを明確にすることが連携の出発点である。

対象：2026-09-02

0112

運転のための合図 > 合図者との連携・確認 | 難易度：基礎

問題：事業者が一定の合図を定め、合図者を指名した場合、作業に従事する者の基本的な対応はどれか。

- ア．各自が自分の判断で合図を無視する。
- イ．定められた合図に従う。
- ウ．資格保有者だけは合図に従わなくてよい。
- エ．運転者以外は合図体系を知る必要がない。

答え・解説

正答：イ

- ア：統一した安全作業ができない。
- イ：正しい。クレーン等安全規則は作業従事者に合図への遵守を求めている。
- ウ：資格の有無にかかわらず作業上の合図に従う。
- エ：関係作業者も共通理解を持つ必要がある。

総合解説：合図は合図者と運転者だけでなく、関係作業者全体の共通ルールである。

対象：2026-09-02

0113

運転のための合図 > 合図者との連携・確認 | 難易度：基礎

問題：運転中、合図者の手が障害物に隠れて合図内容を判別できなくなった。運転者として最も適切な対応はどれか。

- ア．直前の合図を永久に継続するものとする。
- イ．運転者が独自の経路を選んで進む。
- ウ．安全に停止し、合図内容を再確認する。
- エ．速度を上げれば合図が見えると思う。

答え・解説

正答：ウ

- ア：状況変化を無視することになる。
- イ：合図者との連携が失われる。
- ウ：正しい。不明確な合図を推測して運転を続けるべきではない。
- エ：危険を増やす。

総合解説：『分からないときは止まる』ことは、合図連携の重要な安全原則である。

対象：2026-09-02

0114

運転のための合図 > 合図者との連携・確認 | 難易度：標準

問題：指名された合図者は巻上げを示しているが、別の作業者が巻下げを示している。最も適切な対応はどれか。

- ア．二つの合図の中間となる操作をする。
- イ．速度を上げて早く作業を終える。
- ウ．無作為に一方を選ぶ。
- エ．安全に停止し、指揮系統と正しい合図を確認する。

答え・解説

正答：エ

- ア：意味不明な操作になる。
- イ：危険が増す。
- ウ：指揮系統を確認すべきである。
- エ：正しい。相反する合図のまま運転を続けると重大な誤操作につながる。

総合解説：原則として指名された合図者から一貫した指示を受ける体制を作る。

対象：2026-09-02

0115

運転のための合図 > 合図者との連携・確認 | 難易度：標準

問題：作業開始前の合図者と運転者の確認として最も適切なものはどれか。

- ア．互いに合図を確認できる位置関係と、使用する合図の意味を確認する。
- イ．合図者が運転者から完全に見えない位置を選ぶ。
- ウ．合図体系を確認せず作業中に覚える。
- エ．合図者は荷だけ見て運転者との位置関係を考えない。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。視認できなければ合図は機能しない。
- イ：直接合図では意思疎通できない。
- ウ：誤認の危険がある。
- エ：合図を伝えられる位置が必要である。

総合解説：作業前の打合せで、合図方法と立ち位置を確認することが重要である。

対象：2026-09-02

0116

運転のための合図 > 合図者との連携・確認 | 難易度：標準

問題：合図者の立ち位置として最も適切なものはどれか。

- ア．つり荷の真下。
- イ．運転者から見え、かつ荷・経路・危険箇所を確認できる安全な位置。
- ウ．運転者から見えず、荷も見えない場所。
- エ．ワイヤロープの危険な内角側。

答え・解説

正答：イ

- ア：落下危険がある。
- イ：正しい。合図者は運転者へ指示を伝えながら作業状況も把握する必要がある。
- ウ：合図者の役割を果たせない。
- エ：危険箇所を立ち位置にすべきではない。

総合解説：合図者は安全な位置で、運転者と荷の双方をつなぐ役割を担う。

対象：2026-09-02

0117

運転のための合図 > 合図者との連携・確認 | 難易度：標準

問題：合図者がフックを荷の真上へ数cmだけ移動させたい。最も適切な連携はどれか。

- ア．最大速度の水平移動だけを指示する。
- イ．位置指示なしで巻上げだけを示す。
- ウ．位置を示したうえで微動の合図を明確に行い、目的位置で停止を示す。
- エ．目的位置を越えてから合図を始める。

答え・解説

正答：ウ

- ア：オーバーシュートしやすい。
- イ：横位置は変わらない。
- ウ：正しい。方向・小さい操作量・停止を順に伝えることで精密誘導できる。
- エ：遅すぎる。

総合解説：福井労働局の玉掛け実技モデルでも、位置指示や微動によるフック誘導が示されている。

対象：2026-09-02

0118

運転のための合図 > 合図者との連携・確認 | 難易度：標準

問題：同一場所で複数の請負事業者がクレーン等を使って混在作業を行う場合、合図について最も適切なものはどれか。

- ア．請負会社ごとに同じ合図へ別の意味を割り当てる。
- イ．合図を統一せず、運転者が会社名で判断する。
- ウ．混在作業では合図を使ってはならない。
- エ．特定元方事業者が合図を統一的に定め、関係請負人へ周知する。

答え・解説

正答：エ

- ア：混乱防止のため統一が必要である。
- イ：誤認の原因になる。
- ウ：むしろ合図の統一が求められる。
- エ：正しい。労働安全衛生規則第639条は、混在作業時のクレーン等の合図の統一を求めている。

総合解説：複数事業者が同じ場所で作業するほど、合図の統一が重要になる。

対象：2026-09-02

0119

運転のための合図 > 合図者との連携・確認 | 難易度：応用

問題：合図者が水平移動を指示中、別の作業者がつり荷直下へ入り込み切迫した危険が生じた。運転上最も適切な対応はどれか。

- ア．危険を認識したら直ちに安全停止し、状況を解消して合図系統を再確認する。
- イ．合図者の水平移動指示が続いている限り人を無視して進む。
- ウ．速度を上げて早く通過する。
- エ．荷を人の頭上へ高く移動する。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。通常指示を機械的に継続するより、人身危険の回避を優先する。
- イ：人身事故につながる。
- ウ：危険が増す。
- エ：つり荷下の危険を増す。

総合解説：合図連携は安全のための手段であり、切迫した危険時には停止が最優先となる。

対象：2026-09-02

0120

運転のための合図 > 合図者との連携・確認 | 難易度：応用

問題：荷が建物の柱の裏へ入り、現在の合図者位置から運転者との相互視認が途切れる経路である。最も適切な作業計画はどれか。

- ア．死角区間は運転者の推測だけで進む。
- イ．作業前に見える立ち位置や中継方法などを決め、合図が途切れない安全な連携方法を確立する。
- ウ．合図が見えなくても直前の指示を継続する。
- エ．合図者が危険な場所へ無理に入り視認を確保する。

答え・解説

正答：イ

- ア：誤操作の危険が高い。
- イ：正しい。死角に入ってから即興で対応するのではなく、事前に連携方法を計画する。
- ウ：状況変化へ対応できない。
- エ：合図者自身の安全も必要である。

総合解説：連携計画では、合図の継続性と合図者自身の安全を両立する。

対象：2026-09-02

0121 異常時・安全判断 > 死角・障害物・人員への配慮 | 難易度：基礎

問題：つり荷の進行方向に死角があり、その先の安全を確認できない。運転者として最も適切な対応はどれか。

- ア．死角ほど高速で通過する。
- イ．直前まで安全だったのでそのまま進む。
- ウ．安全を確認できるまで減速・停止し、合図者等と連携して確認してから進む。
- エ．荷を大きく振らせて先を確認する。

答え・解説 正答：ウ

- ア：確認時間が減り危険が増す。
- イ：死角内の状況変化を確認できない。
- ウ：正しい。見えない範囲へ推測で荷を進めるべきではない。
- エ：新たな危険を生む。

総合解説：死角では、見える範囲だけを根拠に運転を続けず、確認手段を確保する。

対象：2026-09-02

0122 異常時・安全判断 > 死角・障害物・人員への配慮 | 難易度：基礎

問題：運搬経路の下に作業者がいる場合の対応として最も適切なものはどれか。

- ア．ヘルメットを着けていれば頭上通過させる。
- イ．荷が軽ければそのまま通過する。
- ウ．速度を上げて短時間で通過する。
- エ．人が退避して安全が確保されるまで運搬を進めない。

答え・解説 正答：エ

- ア：落下荷の危険を十分に防げない。
- イ：重量が軽くても危険である。
- ウ：危険を増す。
- エ：正しい。つり荷の落下・振れによる人身危険を避ける。

総合解説：経路上の人員管理は、荷の運搬精度より優先される。

対象：2026-09-02

0123

異常時・安全判断 > 死角・障害物・人員への配慮 | 難易度：基礎

問題：荷が柱の近くを通るとき、クリアランスを判断する基準として最も適切なのはどれか。

- ア．静止時の荷寸法だけでなく、荷振れによる移動範囲も含めて余裕を見る。
- イ．フック中心だけ柱を避ければよい。
- ウ．静止時に数mm空いていれば必ず十分である。
- エ．障害物に軽く接触させながら進む。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。振れている荷は静止時より広い範囲を通過する。
- イ：荷の端部が接触する可能性がある。
- ウ：振れ・操作誤差を考慮できない。
- エ：接触事故となる。

総合解説：障害物回避では荷全体の外形と振れ幅を考える。

対象：2026-09-02

0124

異常時・安全判断 > 死角・障害物・人員への配慮 | 難易度：標準

問題：合図者が運転者から見えやすくなるため、つり荷の真下へ移ろうとしている。最も適切な判断はどれか。

- ア．見えやすければつり荷の真下が最適である。
- イ．つり荷の真下を避け、安全かつ視認できる別の位置を選ぶ。
- ウ．荷の真下からでなければ合図してはならない。
- エ．安全位置より運転者からの近さを常に優先する。

答え・解説

正答：イ

- ア：落下・振れの危険がある。
- イ：正しい。合図の視認性を確保しても、合図者自身を危険にさらしてはならない。
- ウ：そのような規定ではない。
- エ：合図者自身の安全も必要である。

総合解説：合図位置は『見えること』と『安全であること』の両方を満たす必要がある。

対象：2026-09-02

0125

異常時・安全判断 > 死角・障害物・人員への配慮 | 難易度：標準

問題：荷の進行方向に固定設備があり、通過余裕が小さい。最も適切な操作はどれか。

- ア．余裕が小さいほど最高速度で通る。
- イ．荷振れを利用して設備を避ける。
- ウ．十分手前から減速し、荷の位置と振れを確認しながら低速で通過する。
- エ．設備へ触れてから位置を直す。

答え・解説

正答：ウ

- ア：接触時の危険が大きい。
- イ：不確実で危険である。
- ウ：正しい。狭い箇所では修正・停止できる速度が必要である。
- エ：接触を前提とする操作は不適切である。

総合解説：障害物付近では低速・先読み・荷振れ抑制を組み合わせる。

対象：2026-09-02

0126

異常時・安全判断 > 死角・障害物・人員への配慮 | 難易度：標準

問題：つり荷の左右から別々の作業者が近づいてきた。運転者からは両者の動きが読み切れない。最も適切な対応はどれか。

- ア．どちらか一人だけ避ければ運転を続ける。
- イ．警告せずそのまま運搬する。
- ウ．荷を高く上げれば人員確認は不要。
- エ．一度安全に停止し、人員が安全位置へ移ったことを確認してから再開する。

答え・解説

正答：エ

- ア：もう一人への危険が残る。
- イ：人身危険がある。
- ウ：落下時の危険が残る。
- エ：正しい。人の行動が不確実なときは運転継続より停止を優先する。

総合解説：人員の動きが予測できない場合は、状態を確実にするまで停止する。

対象：2026-09-02

0127

異常時・安全判断 > 死角・障害物・人員への配慮 | 難易度：標準

問題：長尺物を運搬中、フックは見えているが荷の後端が柱の陰に入った。最も適切な対応はどれか。

- ア．荷全体の位置を確認できるよう合図者等と連携し、後端の安全を確認して進む。
- イ．フックが見えているのでそのまま進む。
- ウ．後端は運転に影響しないので無視する。
- エ．速度を上げれば後端の死角は問題にならない。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。フックだけ見えていても長尺物の端部が障害物へ接触する可能性がある。
- イ：荷全体の安全を確認できない。
- ウ：接触・引掛かりの危険がある。
- エ：確認不足は解消しない。

総合解説：長尺物では荷の最外端を含めた空間管理が必要である。

対象：2026-09-02

0128

異常時・安全判断 > 死角・障害物・人員への配慮 | 難易度：標準

問題：狭い作業場でクレーン運搬と地上作業が同時に行われる。最も適切な安全対策はどれか。

- ア．合図だけあれば立入管理は不要。
- イ．運搬経路・危険区域を明確にし、人員の立入りを管理し、合図を統一して運転する。
- ウ．立入禁止だけあれば運転合図は不要。
- エ．経路を決めず人と荷が互いに避ける。

答え・解説

正答：イ

- ア：人が危険区域へ入る可能性が残る。
- イ：正しい。人員管理と合図連携を組み合わせることで危険を減らす。
- ウ：複数人作業では合図制度も重要である。
- エ：混乱と接触危険が増す。

総合解説：混在作業では一つの対策だけでなく、区域管理・合図・運転ルールを重ねる。

対象：2026-09-02

0129

異常時・安全判断 > 死角・障害物・人員への配慮 | 難易度：応用

問題：経路途中に二つの死角があり、一人の合図者では全区間を見通せない。最も適切な計画はどれか。

- ア．死角区間はすべて運転者の勘で進む。
- イ．合図者が走って危険区域を横切りながら追いかける。
- ウ．事前に安全な中継方法や合図者の配置、確認停止位置を決め、合図が途切れないようにする。
- エ．死角では速度を上げて早く抜ける。

答え・解説

正答：ウ

- ア：危険である。
- イ：合図者自身が危険になる。
- ウ：正しい。複数死角では即興対応より事前計画が重要である。
- エ：確認不能のまま進むことになる。

総合解説：経路設計には、荷だけでなく合図情報が継続して届くかも含める。

対象：2026-09-02

0130

異常時・安全判断 > 死角・障害物・人員への配慮 | 難易度：応用

問題：荷が振れており、前方に障害物があり、その近くへ作業者も接近している。最も適切な対応はどれか。

- ア．速度を上げて一気に通過する。
- イ．荷振れだけ抑えて人員は無視する。
- ウ．人だけ避ければ障害物への接触は問題ない。
- エ．直ちに安全に減速・停止し、人を退避させ、荷振れを抑え、経路安全を再確認する。

答え・解説

正答：エ

- ア：全ての危険を増やす。
- イ：人身危険が残る。
- ウ：設備損傷や荷落下の危険が残る。
- エ：正しい。複数の危険が重なっているため、進行継続ではなく一度状態をリセットする。

総合解説：複数危険時は、停止して一つずつ危険要因を除去する。

対象：2026-09-02

0131 異常時・安全判断 > 停電・機械異常・緊急停止 | 難易度：基礎

問題：荷をつっている最中に停電した。運転者の基本対応として最も適切なものはどれか。

- ア．荷をつったまま安易に運転位置を離れず、機械の安全手順に従って安全確保する。
- イ．停電したら直ちに荷を放置して運転位置を離れる。
- ウ．停電中は全ての安全規則が無効になる。
- エ．無資格者へ交代して復旧を待つ。

答え・解説 正答：ア

- ア：正しい。クレーン等安全規則は荷をつったまま運転位置を離れることを禁止しており、停電を一般例外としていない。
- イ：法令上の一般例外ではない。
- ウ：無効にはならない。
- エ：就業制限は停電で解除されない。

総合解説：停電時は現場の非常手順と機械の取扱いに従い、つり荷を安全に管理する。

対象：2026-09-02

0132 異常時・安全判断 > 停電・機械異常・緊急停止 | 難易度：基礎

問題：走行中に駆動部から普段と異なる大きな異常音が出た。最も適切な対応はどれか。

- ア．音が大きいほど速度を上げる。
- イ．安全に停止し、異常の有無を確認する。
- ウ．試験時間を優先して運転を続ける。
- エ．異常音は無視して荷を高く上げる。

答え・解説 正答：イ

- ア：機械損傷を悪化させる可能性がある。
- イ：正しい。異常を感じた状態で継続運転すると故障や事故を拡大するおそれがある。
- ウ：安全を優先すべきである。
- エ：危険が増す。

総合解説：異常時は『無理に続けない』ことが基本である。

対象：2026-09-02

0133

異常時・安全判断 > 停電・機械異常・緊急停止 | 難易度：基礎

問題：合図者から明確な急停止合図が出た。運転者として最も適切な対応はどれか。

- ア．通常の経路が終わるまで無視する。
- イ．速度を上げてから停止する。
- ウ．直ちに安全に停止させる操作を行う。
- エ．巻上げだけ続ける。

答え・解説

正答：ウ

- ア：緊急危険を放置することになる。
- イ：危険が増す。
- ウ：正しい。急停止合図は切迫した危険を伝えるためのものである。
- エ：急停止の意味に反する。

総合解説：緊急合図は通常の作業進行より優先する。

対象：2026-09-02

0134

異常時・安全判断 > 停電・機械異常・緊急停止 | 難易度：標準

問題：地切り確認で停止したはずの荷が少しずつ下がり続けている。最も適切な対応はどれか。

- ア．そのまま高く巻き上げれば正常になる。
- イ．走行を開始して様子を見る。
- ウ．荷を人のいない場所まで急いで運ぶ。
- エ．運搬を開始せず、安全に荷を下ろしてブレーキ系統の異常を確認する。

答え・解説

正答：エ

- ア：異常を拡大する可能性がある。
- イ：ブレーキ異常は解消しない。
- ウ：不安定な機械で運搬を継続すべきではない。
- エ：正しい。保持できない状態で高く上げると落下危険が増す。

総合解説：地切りはブレーキや玉掛け異常を低い位置で見つける重要な確認である。

対象：2026-09-02

0135

異常時・安全判断 > 停電・機械異常・緊急停止 | 難易度：標準

問題：横行レバーを右へ操作したのに、トロリが左へ動き始めた。最も適切な対応はどれか。

- ア．直ちに操作を止め、安全を確保して操作系統の異常や方向表示を確認する。
- イ．そのまま操作を続けて慣れる。
- ウ．速度を上げて方向を確認する。
- エ．荷が軽ければ無視する。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。意図と逆方向の動きは重大な誤操作・異常の兆候である。
- イ：危険である。
- ウ：被害を拡大する可能性がある。
- エ：荷重に関係なく異常である。

総合解説：操作と実動作が一致しない場合は、運転継続より確認を優先する。

対象：2026-09-02

0136

異常時・安全判断 > 停電・機械異常・緊急停止 | 難易度：標準

問題：作業開始前点検で巻過防止装置が作動しないことが分かった。最も適切な対応はどれか。

- ア．運転者が注意すればそのまま使う。
- イ．使用を開始せず、異常を是正して安全を確認する。
- ウ．低い荷だけなら必ず使用してよい。
- エ．装置を取り外して通常運転する。

答え・解説

正答：イ

- ア：安全装置の機能不良を人的注意だけで代替すべきではない。
- イ：正しい。安全装置の異常を放置したまま運転すべきではない。
- ウ：異常状態の是正が必要である。
- エ：危険防止機能を失う。

総合解説：作業開始前点検で異常を発見した場合は、運転前には正する。

対象：2026-09-02

0137

異常時・安全判断 > 停電・機械異常・緊急停止 | 難易度：標準

問題：人の接近で急停止した後、その人が一度見えなくなった。再始動前の対応として最も適切なものはどれか。

- ア．見えなくなったので直ちに最高速で再始動する。
- イ．急停止後は確認せず直前の操作を自動的に再開する。
- ウ．人が安全な位置へ退避したことと、荷・経路の安全を再確認する。
- エ．荷振れが大きいほど早く再始動する。

答え・解説

正答：ウ

- ア：死角に残っている可能性がある。
- イ：状況変化を確認していない。
- ウ：正しい。危険が解消したことを確認せず再始動してはならない。
- エ：振れを増幅する。

総合解説：非常停止後は、危険要因の解消と荷の状態を確認してから再開する。

対象：2026-09-02

0138

異常時・安全判断 > 停電・機械異常・緊急停止 | 難易度：標準

問題：停電が復旧した。再運転する前の考え方として最も適切なものはどれか。

- ア．電気が戻った瞬間に無確認で最大操作する。
- イ．荷の位置は停電前と同じと決めつける。
- ウ．周囲の人員確認は不要。
- エ．操作装置の状態、荷の位置、周囲の安全を確認し、不意の再起動を避けて再開する。

答え・解説

正答：エ

- ア：不意の動作や接触につながる。
- イ：停電中の移動・沈下等を確認する必要がある。
- ウ：停止中に人が接近している可能性がある。
- エ：正しい。復電直後は機械の状態を確認してから運転を再開する。

総合解説：復旧は即再開の合図ではなく、再確認の起点である。

対象：2026-09-02

0139

異常時・安全判断 > 停電・機械異常・緊急停止 | 難易度：応用

問題：運搬中に異常音が発生し、ブレーキの効きも弱く、合図者との視認も途切れた。最も適切な対応はどれか。

- ア．可能な範囲で安全に停止し、運転を中断して機械と作業環境を確認する。
- イ．一つだけ無視して運転を続ける。
- ウ．試験時間を優先して最高速で終了させる。
- エ．合図が見えないまま機械の異常も推測で処理する。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。複数の重大な不確定要因がある状態で運転を続けるべきではない。
- イ：複数の危険が残る。
- ウ：重大事故につながり得る。
- エ：安全確認ができない。

総合解説：異常が重なった場合は、作業続行より状態の安全化を優先する。

対象：2026-09-02

0140

異常時・安全判断 > 停電・機械異常・緊急停止 | 難易度：応用

問題：人の飛び出しで急停止し、人との接触は避けられたが、荷が大きく振れている。次に最も注意すべきことはどれか。

- ア．接触を避けたので直ちに反対方向へ最大走行する。
- イ．振れている荷が人や設備へ接触しないよう周囲を確保し、荷の動きが落ち着くまで不用意な操作をしない。
- ウ．荷振れは無視して人を荷の近くへ戻す。
- エ．振れを止めるため設備へ荷を当てる。

答え・解説

正答：イ

- ア：振れをさらに大きくする可能性がある。
- イ：正しい。急停止自体が大きな荷振れを生むため、二次災害を防ぐ必要がある。
- ウ：振れた荷へ接触する危険がある。
- エ：設備損傷や荷落下を招く。

総合解説：緊急停止後は、一次危険だけでなく荷振れによる二次危険も管理する。

対象：2026-09-02

0141 異常時・安全判断 > 減点・失格につながる操作事例 | 難易度：基礎

問題：実技試験で荷の重量確認を行わず、いきなりつり上げを始める行為について最も適切な評価はどれか。

- ア．重量確認は公式課題に含まれないので問題ない。
- イ．速く始められるので推奨される。
- ウ．公式の試験方法に含まれる重量確認を省略しており、不適切である。
- エ．定格荷重表示があれば荷の重量確認は不要。

答え・解説 正答：ウ

- ア：公式試験方法に明示されている。
- イ：安全確認を省略している。
- ウ：正しい。公式規程は重量を確認してから荷をつり上げることを求めている。
- エ：実技試験課題として重量確認が含まれる。

総合解説：細かな減点点数は公表されていないが、公式課題の工程を省略しないことが基本である。

対象：2026-09-02

0142 異常時・安全判断 > 減点・失格につながる操作事例 | 難易度：基礎

問題：実技試験で時間短縮のため、指定経路を無視して最短距離で荷を運ぶ行為について最も適切な評価はどれか。

- ア．最短距離なら常に正解である。
- イ．荷が振れなければ経路は自由である。
- ウ．運転者が免許を持っていれば経路を変更できる。
- エ．公式課題である「定められた経路による運搬」に反するため不適切である。

答え・解説 正答：エ

- ア：公式課題に反する。
- イ：経路遵守が求められる。
- ウ：試験課題の条件は変わらない。
- エ：正しい。試験では指定された経路を通ること自体が課題である。

総合解説：時間より、指定課題を安全かつ正確に実施することを優先する。

対象：2026-09-02

0143

異常時・安全判断 > 減点・失格につながる操作事例 | 難易度：基礎

問題：荷を指定位置から大きくずれた場所へ卸して作業を終了した。最も適切な評価はどれか。

- ア．公式課題の「定められた位置に卸す」を満たしておらず不適切である。
- イ．床に置ければ場所はどこでもよい。
- ウ．荷を高くつったままなら終了扱いになる。
- エ．指定位置は参考にすぎず無視できる。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。定位置への卸しは実技試験方法に明示されている。
- イ：定められた位置への卸しが課題である。
- ウ：荷を定位置へ卸す必要がある。
- エ：公式課題の一部である。

総合解説：位置合わせ・着床は、実技試験の最終工程として重要である。

対象：2026-09-02

0144

異常時・安全判断 > 減点・失格につながる操作事例 | 難易度：標準

問題：実技中に荷を障害物へ接触させる操作について最も適切な考え方はどれか。

- ア．軽く触れる程度なら積極的に利用する。
- イ．安全な経路運搬に反し、重大な不適切操作となり得るため接触させない。
- ウ．接触すると荷振れが止まるので推奨される。
- エ．障害物が固定されていれば接触してよい。

答え・解説

正答：イ

- ア：接触を前提とする運転は不適切である。
- イ：正しい。障害物接触は荷・設備の損傷や荷落下につながる。
- ウ：危険な止め方である。
- エ：設備損傷や荷の挙動変化を招く。

総合解説：公式の詳細減点点数は公表されていないため断定しないが、障害物接触を避けるのは基本的な安全要件である。

対象：2026-09-02

0145

異常時・安全判断 > 減点・失格につながる操作事例 | 難易度：標準

問題：実技中に急発進・急停止・急逆転を繰り返すことが不適切な主な理由はどれか。

- ア．急操作をすると荷の重量が減るため。
- イ．急操作だけが公式に唯一認められた方法だから。
- ウ．荷振れや動荷重を増やし、安定・安全な運転ができていないため。
- エ．速度が変わると経路が自動補正されるため。

答え・解説

正答：ウ

- ア：重量は減らない。
- イ：逆である。
- ウ：正しい。滑らかな操作と荷振れ管理が実技の基本である。
- エ：そのような機能は一般化できない。

総合解説：具体的な減点点数は公開されていないが、急操作は安全・精度の両面で避けるべきである。

対象：2026-09-02

0146

異常時・安全判断 > 減点・失格につながる操作事例 | 難易度：標準

問題：つり荷の進路へ人が入ったのに運転を続ける行為について最も適切な評価はどれか。

- ア．指定経路を守るためなら人の上を通してよい。
- イ．荷が軽ければ問題ない。
- ウ．試験時間が短ければ許される。
- エ．人身危険を無視する重大な不適切操作であり、直ちに安全確保を優先すべきである。

答え・解説

正答：エ

- ア：人の安全が優先される。
- イ：人身危険は残る。
- ウ：時間は安全違反を正当化しない。
- エ：正しい。実技試験以前に、クレーン運転の基本安全原則に反する。

総合解説：詳細な失格条件の公表有無とは別に、人身危険を伴う操作は絶対に避ける。

対象：2026-09-02

0147

異常時・安全判断 > 減点・失格につながる操作事例 | 難易度：標準

問題：指名された合図者が停止を示しているのに、運転者が自己判断で運転を続ける行為について最も適切な評価はどれか。

- ア．合図に従うという法令上の作業ルールに反し、不適切である。
- イ．運転者の経験が長ければ合図を無視できる。
- ウ．停止合図は参考なので無視してよい。
- エ．運転者の方が荷に近ければ必ず合図者より優先される。

答え・解説

正答：ア

- ア：正しい。定められた合図と指揮系統に従う必要がある。
- イ：経験は合図遵守義務の例外ではない。
- ウ：運転合図は安全な共同作業の基本である。
- エ：指揮系統を勝手に変更すべきではない。

総合解説：実技でも、合図の認識・遵守は重要な安全判断である。

対象：2026-09-02

0148

異常時・安全判断 > 減点・失格につながる操作事例 | 難易度：標準

問題：ブレーキ異常を感じても、試験を最後まで終えるため運転を続ける行為について最も適切な評価はどれか。

- ア．試験中は異常を無視するのが正しい。
- イ．試験続行より安全停止と異常確認を優先すべきであり、不適切である。
- ウ．ブレーキ異常は速度を上げれば解決する。
- エ．荷が軽ければ異常確認は不要。

答え・解説

正答：イ

- ア：安全が最優先である。
- イ：正しい。機械異常を無視した運転は重大な危険につながる。
- ウ：危険が増す。
- エ：ブレーキ機能は荷重だけの問題ではない。

総合解説：安全に関する中止判断は、実技能力の一部として考えるべきである。

対象：2026-09-02

0149 異常時・安全判断 > 減点・失格につながる操作事例 | 難易度：応用

問題：「障害物に1回触れたら必ず何点減点」「この操作は必ず即失格」など、一般公開された公式資料で確認できない細かな採点情報について最も適切な扱いはどれか。

- ア．SNSの一例を全国共通の公式点数として扱う。
- イ．非公式情報ほど断定的に覚える。
- ウ．公式に確認できない点数・即失格条件は断定せず、公式課題と安全運転原則に基づいて対策する。
- エ．公式の試験方法は無視する。

答え・解説 正答：ウ

- ア：根拠が不十分である。
- イ：誤情報になる可能性がある。
- ウ：正しい。公開されていない採点細目を教材側で創作すべきではない。
- エ：公式規程を優先すべきである。

総合解説：本SOURCEでは、減点・失格という分類名でも、非公開の採点点数や即失格条件を作り出していない。

対象：2026-09-02

0150 異常時・安全判断 > 減点・失格につながる操作事例 | 難易度：応用

問題：重量確認を省略し、指定経路を外れ、人の接近を無視し、最後に荷を指定位置外へ急着床した。最も適切な評価はどれか。

- ア．時間が短ければ優秀な運転である。
- イ．最後に荷が床へ着けば全て問題ない。
- ウ．運転者が免許取得予定なら全て許容される。
- エ．公式課題の複数要件を満たさず、安全上も重大な問題が重なっているため、実技として極めて不適切である。

答え・解説 正答：エ

- ア：速度だけで実技の良否は決まらない。
- イ：公式課題と安全要件を満たしていない。
- ウ：試験中も安全な操作が必要である。
- エ：正しい。重量確認・経路・人員安全・定位置への卸しという複数の基本要件に反している。

総合解説：細かな採点点数を断定せずとも、公式課題を外れ安全危険を生む操作が不適切であることは明確である。

対象：2026-09-02